

県立石田高等学校造園実習棟新築等に伴う埋蔵文化財発掘調査報告

石田高校校庭内遺跡

2019.3
香川県教育委員会

序 文

本書には、県立石田高等学校造園実習棟新築ほか2事業に伴い発掘調査を実施した、香川県さぬき市寒川町石田東に所在する石田高校校庭内遺跡（いしだこうこうこうでいいせいき）の報告を収録しています。

石田高校校庭内遺跡は、香川県東讃地域の弥生時代の代表的な遺跡である森広遺跡群の中心となる遺跡であることが知られていました。今回の発掘調査では弥生時代の竪穴建物跡や銅鏡・鉄器などの金属器が見つかるなど、あらためて本遺跡の価値が明らかとなりました。さらに、7世紀代の大型掘立柱建物群が規格的に配置されていることがわかりました。本遺跡が旧南海道路のすぐ南に位置することから、この建物群は古代の官衙跡の可能性が大きく、古代の行政関連の遺跡の一端を示すものと考えられます。

本書が、本県の歴史研究の資料として広く活用されるとともに、埋蔵文化財に対する理解と关心が一層深められる一助となれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から出土品の整理・報告に至るまでの間、関係各機関・地元関係各位には、多大なご協力とご指導をいただきました。ここに深く感謝の意を表しますとともに、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成31年3月8日

香川県埋蔵文化財センター

所長 西岡 達哉

例　言

- 1 本報告書は、県立石田高等学校造園実習棟新築ほか2事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書で、香川県さぬき市寒川町石田東に所在する石田高校校庭内遺跡（いしだこうこうこうこうていのいせき）の報告を収録した。
- 2 発掘調査は、香川県教育委員会が調査主体、香川県埋蔵文化財センターが調査担当者として実施した。
- 3 各事業に伴う発掘調査期間及び発掘調査の担当は次のとおりである。

造園実習棟新築

確認調査 平成 16 年 10 月 14 日

本調査 平成 17 年 9 月 1 日～平成 17 年 11 月 30 日（担当 森下英治、佐々木和裕）

堆肥舎建設

確認調査 平成 16 年 10 月 14 日

本調査 平成 21 年 6 月 1 日～平成 21 年 7 月 31 日（担当 山下平重、藏本晋司）

耐震化スピードアップ事業による鶏舎移転及び新設

確認調査 平成 24 年 8 月 21 日

本調査 平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 1 月 31 日（担当 小野秀幸、長井博志）

- 4 調査にあたって、下記の関係諸機関の協力を得た。記して謝意を表したい。（順不同、敬称略）

香川県教育委員会事務局高校教育課、香川県立石田高等学校

- 5 報告書の作成は、香川県埋蔵文化財センターが実施した。本報告書の編集及び執筆は山下平重が担当した。

- 6 報告書の作成にあたっては、下記の方々のご教示を得た。記して謝意を表したい。（順不同、敬称略）

独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 玉田芳英

大川広域行政組合 松田朝由

- 7 本報告書で用いる方位の北は、世界測地系（または旧国土地標系第Ⅳ系）の北であり、標高は東京湾平均海水位（T.P.）を基準としている。

また、遺構は下記の略号により表示している。

SB 堀立柱建物 SD 溝 SH 竪穴建物 SK 土坑

SP 柱穴 SX 不明遺構

- 8 石器実測図中、網掛けをしている部分は磨滅痕を、輪郭線周りの実線は磨滅あるいは研磨を、同じく点線はつぶれを表す。

- 9 本遺跡の報告にあたっては、次の機関等に保存処理・分析を依頼した。

鉄器保存処理（平成 17 年） 株式会社京都科学

銅鏡保存処理（平成 21 年度） 財團法人元興寺文化財研究所

青銅器鉛同位体分析（平成 29 年度） 株式会社イビソク
炭化材樹種同定（平成 29 年度） 株式会社イビソク
銅鑓・鉄器保存処理（平成 29 年度） 株式会社イビソク
鉄滓分析（平成 29 年度） 株式会社イビソク

- 10 土層及び遺構断面図の水平線上の数値は、水平線の標高値（単位 m）である。
- 11 遺物観察表中の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財團法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖』による。また、残存率は遺物の図化部分に占める割合であり、完形品に対する割合ではない。
- 12 挿図の一部に国土地理院地形図、志度（1/25,000）及びさぬき市都市計画図（1/2,500）を使用した。
- 13 本書では調査年度ごとに報告することから、挿図・観察表の遺物番号は調査年度とその年度における通し番号（例えば平成 17 年度調査であれば、17-001～）で表現する。本文中では当該年度における通し番号（1～）で表現する。
- 14 本書での遺物の年代観は、下記の文献等を参考にした。

信里芳紀「弥生中期後半から古墳初頭の土器編年」『独立行政法人国立病院機構善通寺病院統合事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第 2 冊 旧練兵場遺跡 II（第 19 次調査） 第二分冊』2011 香川県教育委員会 独立行政法人国立病院機構善通寺病院

佐藤竜馬「讃岐における古代～中世土器編年をめぐる基礎作業（1）」「香川県埋蔵文化財センター年報平成 26 年度」2016

佐藤竜馬「高松平野と周辺地域における中世土器の編年」「空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第 4 冊 空港跡地遺跡 IV」香川県教育委員会 2000

本文中では、空港跡地分類と表記して使用する。

古代の土器研究会「古代の土器 1 都城の土器集成」1992

『概説 中世の土器・陶磁器』中世土器研究会編 1995

本文目次

第1章 調査の経緯

| | |
|-------------|---|
| 第1節 調査に至る経緯 | 1 |
| 第2節 調査の経過 | 2 |

第2章 立地と環境

| | |
|-----------|---|
| 第1節 地理的環境 | 3 |
| 第2節 歴史的環境 | 3 |

第3章 調査の成果

| | |
|--------------|----|
| 第1節 平成17年度調査 | 10 |
| 第2節 平成21年度調査 | 64 |
| 第3節 平成25年度調査 | 85 |

第4章 自然科学分析の成果

| | |
|--------------------------------------|-----|
| 第1節 石田高校校庭内遺跡出土の炭化材の樹種同定 | 141 |
| 第2節 香川県さぬき市石田高校校庭内遺跡から出土した青銅製品の科学的調査 | 143 |
| 第3節 石田高校校庭内遺跡出土鍛冶関連遺物の分析調査 | 149 |

第5章 総括

158

挿図目次

| | | |
|----------|-----------------------------------|-----|
| 第1図 | 調査位置図 | 1 |
| 第2図 | 周辺地形図 | 4 |
| 第3図 | 既往の調査位置図 | 5 |
| 第4図 | 周辺遺跡分布図 | 7 |
| 平成17年度調査 | | |
| 第5図 | 調査区名図 | 10 |
| 第6図 | 南東壁断面図 | 11 |
| 第7図 | 調査区東壁(SH02含む)土層断面図 | 11 |
| 第8図 | 縄文時代出土遺物分布図 | 13 |
| 第9図 | 縄文包含層遺物実測図 | 14 |
| 第10図 | SP49平・断面図 | 14 |
| 第11図 | 弥生時代遺構平面図 | 15 |
| 第12図 | SH01平・断面図 | 16 |
| 第13図 | SH01古段階平・断面図 | 17 |
| 第14図 | SH01遺物実測図1 | 18 |
| 第15図 | SH01遺物実測図2 | 19 |
| 第16図 | SH02平・断面図 | 21 |
| 第17図 | SH02遺物実測図 | 22 |
| 第18図 | SH03平・断面図 | 23 |
| 第19図 | SH03遺物実測図1 | 24 |
| 第20図 | SH03遺物実測図2 | 25 |
| 第21図 | SH03遺物実測図3 | 26 |
| 第22図 | SK09平・断面図 | 27 |
| 第23図 | SH05平・断面図 | 28 |
| 第24図 | SD01平・断面図 | 29 |
| 第25図 | SD01遺物実測図1 | 30 |
| 第26図 | SD01遺物実測図2 | 31 |
| 第27図 | SD01遺物実測図3 | 32 |
| 第28図 | SD01遺物実測図4 | 33 |
| 第29図 | SD01遺物実測図5 | 34 |
| 第30図 | SD01遺物実測図6 | 35 |
| 第31図 | SD01遺物実測図7 | 36 |
| 第32図 | SD01遺物実測図8 | 37 |
| 第33図 | SD01遺物実測図9 | 38 |
| 第34図 | SD01遺物実測図10 | 39 |
| 第35図 | SD01遺物実測図11 | 40 |
| 第36図 | SD01遺物実測図12 | 41 |
| 第37図 | SD01遺物実測図13 | 42 |
| 第38図 | SD01遺物実測図14 | 43 |
| 第39図 | SD01遺物実測図15 | 44 |
| 第40図 | SD01遺物実測図16 | 45 |
| 第41図 | SD01遺物実測図17 | 46 |
| 第42図 | SD01遺物実測図18 | 47 |
| 第43図 | SD01遺物実測図19 | 48 |
| 第44図 | SD01遺物実測図20 | 49 |
| 第45図 | SD01遺物実測図21 | 50 |
| 第46図 | SP46遺物実測図 | 51 |
| 第47図 | 古代以降遺構平面図 | 52 |
| 第48図 | SD02・SX01平・断面図 | 53 |
| 第49図 | SD02・SX01遺物実測図1 | 54 |
| 第50図 | SD02・SX01遺物実測図2 | 55 |
| 第51図 | SD02・SX01遺物実測図3 | 56 |
| 第52図 | SE01平・断面図 | 57 |
| 第53図 | SE02平・断面図 | 58 |
| 第54図 | SE03平・断面図 | 59 |
| 第55図 | SP20平・断面図 | 59 |
| 第56図 | SK01・SK02平・断面図 | 60 |
| 第57図 | SX02・SX03平・断面図 | 61 |
| 第58図 | SD04遺物実測図 | 61 |
| 第59図 | 出土位置不明遺物実測図 | 62 |
| 第60図 | 平成17年度調査区遺構変遷図 | 63 |
| 平成21年度調査 | | |
| 第61図 | 全体図(平面) | 65 |
| 第62図 | 全体図(上層) | 66 |
| 第63図 | 全体図(下層) | 67 |
| 第64図 | 西調査区西・東壁・東調査区南壁断面図 | 68 |
| 第65図 | 調査区北壁断面図 | 69 |
| 第66図 | SK05平・断面図 | 70 |
| 第67図 | SD01・SD09平・断面図 | 71 |
| 第68図 | SD01遺物実測図2 | 72 |
| 第69図 | SD09遺物実測図1 | 73 |
| 第70図 | SD09遺物実測図2 | 74 |
| 第71図 | SD09遺物実測図3 | 75 |
| 第72図 | SK06遺物実測図 | 76 |
| 第73図 | SD03・SD06・SD07・SD08 ・断面図、遺物実測図 | 77 |
| 第74図 | SK02平・断面図 | 79 |
| 第75図 | SK03・SK04平・断・立面図 | 80 |
| 第76図 | SK03・SK04遺物実測図 | 81 |
| 第77図 | SD02平・断面図 | 82 |
| 第78図 | SD05平・断面図 | 82 |
| 第79図 | その他の遺構・包含層出土遺物実測図 | 82 |
| 第80図 | 平成21年度調査区遺構変遷図 | 83 |
| 平成25年度調査 | | |
| 第81図 | グリッド配置図 | 86 |
| 第82図 | 調査区グリッド図 | 87 |
| 第83図 | 調査区北壁断面図 | 88 |
| 第84図 | 全体遺構配図図 | 90 |
| 第85図 | 調査区東壁断面図 | 91 |
| 第86図 | 調査区南壁断面図 | 92 |
| 第87図 | SH02平・断面図 | 93 |
| 第88図 | SH02遺物実測図1 | 94 |
| 第89図 | SH02遺物実測図2 | 95 |
| 第90図 | SH03平・断面図 | 96 |
| 第91図 | SH03遺物実測図 | 97 |
| 第92図 | SH04平・断面図 | 98 |
| 第93図 | SH04新面図2 | 99 |
| 第94図 | SH04遺物実測図1 | 100 |
| 第95図 | SH04遺物実測図2 | 101 |
| 第96図 | SH04遺物実測図3 | 102 |
| 第97図 | SH05平・断面図 | 102 |
| 第98図 | SH06平・断面図 | 103 |
| 第99図 | SH08平・断面図 | 104 |
| 第100図 | SH08遺物実測図 | 105 |
| 第101図 | SH09平・断面図 | 106 |
| 第102図 | SH09遺物実測図1 | 107 |
| 第103図 | SH09遺物実測図2 | 108 |
| 第104図 | SH12平・断面図 | 109 |
| 第105図 | SH13平・断面図 | 110 |
| 第106図 | SP205平・断面図 | 111 |
| 第107図 | SD06平・断面図 | 112 |
| 第108図 | SH01平・断面図 | 113 |
| 第109図 | SH01遺物実測図 | 114 |
| 第110図 | SH07・SH11平・断面図 | 115 |

| | | |
|---------|---|-----|
| 第 111 図 | SH07 遺物実測図 | 116 |
| 第 112 図 | SH10 平・断面図、遺物実測図 | 117 |
| 第 113 図 | SB04 平面図 | 118 |
| 第 114 図 | SB04 断面図 | 119 |
| 第 115 図 | SB04 遺物実測図 | 120 |
| 第 116 図 | SB06 平・断面図、遺物実測図 | 120 |
| 第 117 図 | SB07 平・断面図、遺物実測図 | 121 |
| 第 118 図 | SK02 平・断面図、遺物実測図 | 122 |
| 第 119 図 | SK03 平・断面図、遺物実測図 | 123 |
| 第 120 図 | SK04 平・断面図、遺物実測図 | 123 |
| 第 121 図 | SD04・05・07 平・断面図 | 124 |
| 第 122 図 | SD04・05・07 遺物実測図 | 125 |
| 第 123 図 | SB01 平・断面図、遺物実測図 | 126 |
| 第 124 図 | SB02 平・断面図、遺物実測図 | 128 |
| 第 125 図 | SB03 平・断面図、遺物実測図 | 129 |
| 第 126 図 | SB05 平・断面図 | 129 |
| 第 127 図 | SK01 平・断面図、遺物実測図 | 130 |
| 第 128 図 | SD01～03 平・断面図 | 131 |
| 第 129 図 | SD01 遺物実測図 1 | 132 |
| 第 130 図 | SD01 遺物実測図 2 | 133 |
| 第 131 図 | SD01 遺物実測図 3 | 134 |
| 第 132 図 | SD01 遺物実測図 4 | 135 |
| 第 133 図 | SD01 遺物実測図 5 | 136 |
| 第 134 図 | SD02・SD03 遺物実測図 | 137 |
| 第 135 図 | ピット及び包含層遺物実測図 | 138 |
| 第 136 図 | 平成 25 年度調査区構造変遷図 | 140 |
| 第 137 図 | 鉛同位体比を用いた産地推定の概念図 (A式図) | 146 |
| 第 138 図 | 鉛同位体比を用いた産地推定の概念図 (B式図) | 146 |
| 第 139 図 | 香川県さぬき市石田高校校庭内遺跡から 出土した青銅製品の鉛同位体比 (A式図) | 147 |
| 第 140 図 | 香川県さぬき市石田高校校庭内遺跡から 出土した青銅製品の鉛同位体比 (B式図) | 147 |
| 第 141 図 | 第 139 図の拡大図 | 147 |
| 第 142 図 | 第 140 国の拡大図 | 147 |
| 第 143 図 | 弥生時代後期の銅鑼が示す鉛同位体比分布 (A式図) | 148 |
| 第 144 図 | 弥生時代後期の銅鑼が示す鉛同位体比分布 (B式図) | 148 |
| 第 145 図 | 石田高校校庭内遺跡北半部遺構配置図 | 160 |

表 目 次

| | | |
|--------|--------------------------------------|-----|
| 第 1 表 | 森広跡群 既往の発掘調査一覧 | 6 |
| 第 2 表 | 石田高校校庭内遺跡出土木材の樹種同定 結果一覧 | 141 |
| 第 3 表 | 香川県さぬき市石田高校校庭内遺跡から 出土した青銅製品 | 143 |
| 第 4 表 | 香川県さぬき市石田高校校庭内遺跡から 出土した青銅製品の鉛同位体比 | 147 |
| 第 5 表 | 供試材の観察と調査項目 | 153 |
| 第 6 表 | 供試材の化学組成 | 153 |
| 第 7 表 | 出土遺物の調査結果のまとめ | 154 |
| 第 8 表 | 平成 17 年度土器観察表 (1) | 161 |
| 第 9 表 | 平成 17 年度土器観察表 (2) | 162 |
| 第 10 表 | 平成 17 年度土器観察表 (3) | 163 |
| 第 11 表 | 平成 17 年度土器観察表 (4) | 164 |
| 第 12 表 | 平成 17 年度土器観察表 (5) | 165 |
| 第 13 表 | 平成 17 年度土器観察表 (6) | 166 |
| 第 14 表 | 平成 17 年度土器観察表 (7) | 167 |
| 第 15 表 | 平成 17 年度土器観察表 (8) | 168 |
| 第 16 表 | 平成 17 年度土器観察表 (9) | 169 |
| 第 17 表 | 平成 17 年度土器観察表 (10) | 170 |
| 第 18 表 | 平成 17 年度土器観察表 (11) | 171 |
| 第 19 表 | 平成 17 年度土器観察表 (12) | 172 |
| 第 20 表 | 平成 17 年度土器観察表 (13) | 173 |
| 第 21 表 | 平成 17 年度土器観察表 (14) | 174 |
| 第 22 表 | 平成 17 年度土器観察表 (15) | 175 |
| 第 23 表 | 平成 17 年度土器観察表 (16) | 176 |
| 第 24 表 | 平成 17 年度土器観察表 (17) | 177 |
| 第 25 表 | 平成 17 年度土器観察表 (18) | 178 |
| 第 26 表 | 平成 17 年度土器観察表 (19) | 179 |
| 第 27 表 | 平成 17 年度土器観察表 (20) | 180 |
| 第 28 表 | 平成 17 年度土器観察表 (21) | 181 |
| 第 29 表 | 平成 17 年度土器観察表 (22) | 182 |
| 第 30 表 | 平成 17 年度土器観察表 (23) | 183 |
| 第 31 表 | 平成 17 年度土器観察表 (24) | 184 |
| 第 32 表 | 平成 17 年度土器観察表 (25) | 185 |
| 第 33 表 | 平成 17 年度土器観察表 (26) | 186 |
| 第 34 表 | 平成 17 年度土器観察表 (27) | 187 |
| 第 35 表 | 平成 17 年度土器観察表 (28) | 188 |
| 第 36 表 | 平成 17 年度土器観察表 (29) | 189 |
| 第 37 表 | 平成 17 年度土器観察表 (30) | 190 |
| 第 38 表 | 平成 17 年度瓦観察表 | 191 |
| 第 39 表 | 平成 17 年度石器観察表 | 191 |
| 第 40 表 | 平成 17 年度金属器観察表 | 192 |
| 第 41 表 | 平成 21 年度土器観察表 (1) | 193 |
| 第 42 表 | 平成 21 年度土器観察表 (2) | 194 |
| 第 43 表 | 平成 21 年度土器観察表 (3) | 195 |
| 第 44 表 | 平成 21 年度土器観察表 (4) | 196 |
| 第 45 表 | 平成 21 年度土器観察表 (5) | 197 |
| 第 46 表 | 平成 21 年度土器観察表 (6) | 198 |
| 第 47 表 | 平成 21 年度瓦観察表 | 199 |
| 第 48 表 | 平成 21 年度石器観察表 | 199 |
| 第 49 表 | 平成 21 年度金属器観察表 | 199 |
| 第 50 表 | 平成 25 年度土器観察表 (1) | 200 |
| 第 51 表 | 平成 25 年度土器観察表 (2) | 201 |
| 第 52 表 | 平成 25 年度土器観察表 (3) | 202 |
| 第 53 表 | 平成 25 年度土器観察表 (4) | 203 |
| 第 54 表 | 平成 25 年度土器観察表 (5) | 204 |
| 第 55 表 | 平成 25 年度土器観察表 (6) | 205 |
| 第 56 表 | 平成 25 年度土器観察表 (7) | 206 |
| 第 57 表 | 平成 25 年度土器観察表 (8) | 207 |
| 第 58 表 | 平成 25 年度土器観察表 (9) | 208 |
| 第 59 表 | 平成 25 年度土器観察表 (10) | 209 |
| 第 60 表 | 平成 25 年度土器観察表 (11) | 210 |
| 第 61 表 | 平成 25 年度土器観察表 (12) | 211 |

| | | |
|------|----------------------|-----|
| 第62表 | 平成25年度土器観察表(13)..... | 212 |
| 第63表 | 平成25年度土器観察表(14)..... | 213 |
| 第64表 | 平成25年度土器観察表(15)..... | 214 |
| 第65表 | 平成25年度土器観察表(16)..... | 215 |
| 第66表 | 平成25年度土器観察表(17)..... | 216 |
| 第67表 | 平成25年度土器観察表(18)..... | 217 |
| 第68表 | 平成25年度土器観察表(19)..... | 218 |
| 第69表 | 平成25年度瓦観察表..... | 218 |
| 第70表 | 平成25年度石器観察表..... | 219 |
| 第71表 | 平成25年度金属器観察表..... | 219 |

図版目次

| | | |
|----------|--|-----|
| 写真1 | 石田高校校庭内遺跡出土炭化材の走査型電子顕微鏡写真..... | 142 |
| 写真2 | 石田高校校庭内遺跡から発掘された銅鐵資料..... | 144 |
| 写真3 | 石田高校校庭内遺跡から発掘された銅鐵資料(2)..... | 144 |
| 写真4 | 石田高校校庭内遺跡から発掘された銅鐵破片(3)..... | 144 |
| 写真5 | 羽口(鉄津付着)の顕微鏡組織・EPMA調査..... | 155 |
| 写真6 | 鍛治津の顕微鏡組織調査・EPMA調査..... | 156 |
| 写真7 | 鍛治津の顕微鏡組織調査・EPMA調査..... | 157 |
| 平成27年度調査 | | |
| 図版1 | | 222 |
| | 調査前 南東から | |
| | 全景 東から | |
| | 全景 北から | |
| | 調査区東半 遺構検出 南西から | |
| 図版2 | | 223 |
| | 調査区全体 遺構検出状況 東から | |
| | 調査区東壁 南半断面 西から | |
| | 調査区南壁 東端断面 北から | |
| | BL5 繩文包含層 土器・石器出土状況 北から | |
| 図版3 | | 224 |
| | BL5 繩文包含層 南西部掘下1m状況 北東から | |
| | SK08 検出状況 北から | |
| | SK08 断面 北から | |
| | SP49 断面 西から | |
| 図版4 | | 225 |
| | SH01, SH02 検出状況 南西から SH01 ⅰ断面 南東から SH01 ⅱ断面 北西から SH01 床面上器出土状況 北から | |
| 図版5 | | 226 |
| | SH01 床面上器出土状況 南から SH01 SP27 断面 西から SK03, SK04 断面 東から SK03, SK04 遺物出土状況 西から | |
| 図版6 | | 227 |
| | SK07 断面 西から SK07 完掘 南西から SH01 全景 北から SH02 床面上器出土状況 南西から | |
| 図版7 | | 228 |
| | SP23 断面 北から SP23 土器出土状況 西から SH03 完掘 南西から SH03 床面検出状況 南から | |
| 図版8 | | 229 |
| | SH03 床面検出状況 南から SH03 中央落ち込み検出 南から SH03 A区土器出土状況 南から SH03 床面焼土、炭検出状況 南から | |
| 図版9 | | 230 |
| | SH03 SP41 断面 東から SH03 SP41 磯石出土状況 北西から SH03 SP36 断面 南から SH03 SP40 断面 西から | |
| 図版10 | | 231 |
| | SH03 SP39 断面 南から SK05, SK06 断面 東から SK05 遺物出土状況 東から SK05 完掘状況 東から | |
| 図版11 | | 232 |
| | SK06 検出状況 南から SK06 炭化物検出状況 南から SK05, SK06 北から SK09 検出状況 南東から | |
| 図版12 | | 233 |
| | SK09 断面 西から SH05 断面 南東から SD01 完掘 北東から SD01 完掘(堆残) 北東から | |
| 図版13 | | 234 |
| | SD01 A区土器出土状況 東から SD01 B区土器出土状況 北から SD01 B、C区土器出土状況 北から SD01 B区上層下部下位土器出土状況 北から | |
| 図版14 | | 235 |
| | SD01 C区上層下部下位土器群 出土状況 南西から SD01 上層下部土器出土状況 北東から SD01 粘土出土状況 西から SD01 K-1 土鍾出土状況 北東から | |
| 図版15 | | 236 |
| | SD01 調査区北壁部分断面 南から SD01 aa'断面, bb'断面 北東から SD01 aa'断面 北から SD01 bb'断面 北から | |
| 図版16 | | 237 |
| | SD01 cc'断面 南から SD01, SH01 土器出土状況 北から SX01 完掘 南から SX01 断面 南東から | |
| 図版17 | | 238 |
| | SD02 断面 南から SB01 完掘 南から | |

| | | | |
|-----------------------|--------------|-----------|-------------------------|
| SB01 | SP19 断面 南から | | 調査区東半上層遺構 完掘全景 東から |
| SB02 | 検出状況 南東から | 国版 53 | 274 |
| 国版 18 | | 239 | |
| SB03 | SP03 断面 西から | | 調査区西半 全景 南から |
| SK01 | 完掘 北から | | 調査区東半 遺構完掘状況（上層） 西から |
| SK01 | 断面 北から | | 遺構完掘状況（下層） 東から |
| SK02 | 断面 北東から | 国版 54 | 遺構完掘状況（下層） 西から |
| 国版 19 | | 240 | 275 |
| SD02, SD03 | 検出状況 北から | | 南部拡張区 遺構検出状況 東から |
| SD03 | 断面 南から | | 南部拡張区 遺構完掘（上層） 東から |
| SX02 | 完掘 南東から | 国版 55 | 北壁断面 SD05 付近 南東から |
| SX02 | 断面 南から | | 276 |
| 国版 20 | | 241 | 調査区北壁・東壁交点土層 南西から |
| SD04 | 断面 南から | | C1-23・D1-3・8・13グリッド 調査区 |
| SX03 | 断面 北から | | 北壁断面 南東から |
| 国版 21 ~ 37 | 平成 17 年度出土遺物 | 242 ~ 258 | C1-25 南壁東端断面 北から |
| 平成 21 年度調査 | | | SH02 南北土層 東から |
| 国版 38 | | 259 | 277 |
| 西調査区遺構検出 南から | | | SH02 東西断面 南東から |
| 西調査区全景 南から | | | SH02 K2 断面 西から |
| 西調査区全景 西から | | | SH02 K1 断面 南から |
| 西調査区西壁 東から | | | SH02 K1 炭化物層 西から |
| 国版 39 | | 260 | 278 |
| 西調査区北壁西端 南から | | | SH02 完掘 北から |
| 西調査区東壁 西から | | | SH03 東西断面 南から |
| 東調査区遺構検出 南から | | | SH03 南北トレンチ南北断面 西から |
| 東調査区完掘 南から | | | SH03 炭化材出土状況 南から |
| 国版 40 | | 261 | 279 |
| 東調査区完掘 西から | | | SH03 完掘 南から |
| 東調査区南壁断面 北から | | | SH04 南北断面 東から |
| SK05 断面 南から | | | SH04 床面検出 北から |
| SK05 土器出土状況 南から | | 国版 59 | SH04 墓構断面 東から |
| 国版 41 | | 262 | 280 |
| SD01 北半断面 南から | | | SH04 P-4 断面 東から |
| SD01 北半 3 層土器出土状況 東から | | | SH04 完掘全景 北から |
| SD09 ④土器出土状況 北から | | | SH04 断面（南壁部分） 北から |
| SD09 断面 南から | | 国版 60 | SH04 K1 かづ断面（南壁部分） 北から |
| 国版 42 | | 263 | 281 |
| SD09 断面 調査区南壁部分 北から | | | SH04 南北断面 西から |
| SK06 完掘 東から | | | SH04 K1 検出 北から |
| SK06 踏出土状況 東から | | | SH04 K1 炭化物層 北から |
| SK06 断面 北から | | 国版 61 | SH04 床面完掘（南壁張部） 北から |
| 国版 43 | | 264 | 282 |
| SD06 断面 南から | | | SH05 断面 西から |
| SK02 断面 北から | | | SH05 断面 北西から |
| SK03 断面 南から | | | SH06 断面 東から |
| SK03, SK04 踏出土状況 南から | | 国版 62 | SH06 P2 土器出土状況 西から |
| 国版 44 | | 265 | 283 |
| SK03 断面 南から | | | SH06 断面 北から |
| SK03 完掘 南から | | | SH06 P2 断面 西から |
| SK03 底面瓦器焼出土状況 南から | | | SH06 完掘 北から |
| SK04 断面 南から | | 国版 63 | SH08 堆積土中 土器出土状況 北から |
| 国版 45 | | 266 | 284 |
| SD02 断面 南から | | | SH08 土器出土状況 北から |
| SD05 断面 北から | | | SH08 断面 西から |
| 国版 46 ~ 51 | 平成 21 年度出土遺物 | 267 ~ 272 | SH08 完掘 東から |
| 平成 25 年度調査 | | | SH09 断面 西から |
| 国版 52 | | 273 | 285 |
| 調査前 既存建物解体 東から | | | SH09 床面遺物出土 東から |
| 調査区東半上層遺構 完掘全景 西から | | | SH09 断面（北壁） 南から |
| | | | SH09 K1 断面 東から |

| | | | | | |
|-------|---|-----|----------|---|-----|
| 図版 65 | SH09 K1 炭化物面 東から SH09 K1 完掘 南から SH09 全景 西から SH12 検出 北東から SH12 断面 南から | 286 | 図版 75 | SB04 SPI93 断面 北から SB04 SPI84 断面 北から | 296 |
| 図版 66 | SH12 K1 断面 東から SH13 K1 断面 西から SH13 K1 炭層 出 南から E1-18 SP205 断面 北から | 287 | 図版 76 | SB04 SPI76 断面 北から SB04 SPI69 断面 北から SB06 SP49 断面追加・完掘 南から SB06 SPI101 完掘状況 南から | 297 |
| 図版 67 | E1-18 SP205 土器出土 東から SD06 断面 北西から SH01 東西トレンチ土層 南東から | 288 | 図版 77 | SB06 SP102 断面 南から SB07 SP157 断面 北から SB07 SP132 断面 東から SB07 SP126 断面 東から | 298 |
| 図版 68 | SH01 bb 断面 北半 西から SH01 bb' 断面 南半 西から SH01 カマド断削断面 南から SH01 カマド内完掘 南から | 289 | 図版 78 | SB07 SP137 断面 東から SB07 SP199 断面 西から SB07 SP206 断面 北から D1-13 SK02 断面 南東から | 299 |
| 図版 69 | SH01 K1 断面 西から SH01 完掘 南から SH07 東西断面 東半 北から SH07 南北断面 東から | 290 | 図版 79 | D1-13・18 SK02 完掘 北から D1-24・E1-4 SK03 完掘 北から E1-3 SK04 断面 西から SD04 上層遺物出土状況 南から | 300 |
| 図版 70 | SH07 調査区北壁土層 西半 南から SH07 調査区北壁土層 東半 南から SH07 土器出土状況 西から | 291 | 図版 80 | SD04 断面 南から SD04 完掘 北から SD05 断面 調査区北壁部分 南から | 301 |
| 図版 71 | SH07 床面検出 西から SH07 完掘 南から SH11 断面 東から | 292 | 図版 81 | SD05 完掘 北から SD07 断面 南西から SD07 完掘 北東から E1-3 SX01 完掘 南から | 302 |
| 図版 72 | SB04 SP97 断面 南から SB04 SP99 完掘状況 西から SB04 SP01 完掘状況 西から SB04 SP160 断面 西から | 293 | 図版 82 | SD01 最下層遺物出土状況 南から SD01 ①最下層遺物出土状況 北から SD01 ②断面 北から SD01 断面(調査区南壁) 北から | 303 |
| 図版 73 | SB04 SP98 断面 南から SB04 SP153 断面 南から SB04 SP68 断面 南から SB04 SP71 断面 北西から | 294 | 図版 83 | SD02 ①断面 西から SD02 完掘 西から SD03 踏・道物出土状況 北から SD03 断面 南から | 304 |
| 図版 74 | SB04 SP52 断面 西から SB04 SP186 断面 北から | 295 | 図版 84～92 | SD03 完掘 南から 平成25年度出土遺物 305～313 鉄器・銅鏡写真 313 | |

第1章 調査の経緯

第1節 調査に至る経緯

県立石田高等学校敷地内全域は、周知の埋蔵文化財包蔵地「石田高校校庭内遺跡」となっている。造園実習棟新築及び堆肥舎建設が計画されたことから、今後の保護措置を検討する資料を得るために、平成16年度に香川県教育委員会文化行政課が確認調査を実施したところ、いずれの箇所も弥生時代から古墳時代の遺構が確認されたため、建物の建設にあたっては、事前の保護措置が必要となった。造園実習棟については平成17年度に、堆肥舎については平成21年度に、いずれも香川県埋蔵文化財センターが開発に伴う本発掘調査を実施した。



第1図 調査地位置図

また、学校敷地北端にある農場実習室を解体後に鶴舎の建設が予定されたことから、平成24年度に香川県教育委員会生涯学習・文化財課が隣接地の調査可能な箇所で、確認調査を実施した。この結果、弥生時代と中世の遺構を確認したため、事前の保護措置が必要となり、平成25年度に香川県埋蔵文化財センターが開発に伴う本発掘調査を実施した。

第2節 調査の経過

本発掘調査の調査期間及び担当者は、例言のとおりである。調査面積については、平成17年度が291m²、平成21年度は160m²、平成25年度は407m²である。

整理作業は、平成29年度に実施した。他事業の整理作業との調整のため、整理作業期間は、平成29年4月～平成29年6月、平成29年12月～平成30年3月と2時期に分かれた。整理作業対象の遺物コンテナは、3年度分合計して106箱である。遺物の実測及びトレースについては、一部外部委託で実施した。

第2章 立地と環境

第1節 地理的環境

石田高校校庭内遺跡は、南側を阿讚山脈から派生する丘陵、北側を小丘陵群に挟まれた平地に存在する。この平地には、南側の丘陵地帯から流れ出る中小河川があり、当遺跡は、西側を津田川支流梅檀川、北側を津田川、東側は又の池を旧流路とする旧河川に挟まれている。標高は32m前後である。地形図の地割の乱れを示したのが第2図である。当遺跡付近は東西約500m、南北約700mにわたり地割の乱れの少ない所となっている。

第2節 歴史的環境

1 既往の調査（第3図）

さぬき市寒川町石田東に所在する森広弥生遺跡、石田高校校庭内遺跡、加藤遺跡、布施遺跡などの遺跡群の総称として森広遺跡群が用いられている。ここでは、石田高校校庭内遺跡及び近接地におけるこれまでの調査について第1表にまとめておく。

2 周辺の遺跡（第4図）

本報告より前の調査成果をもとに周辺の遺跡についてまとめておく。

旧石器時代

遺構・遺物は確認されていない。

縄文時代

兩瀧山西麓の丘陵から有舌尖頭器が出土している。森広遺跡、加藤遺跡、石田高校校庭内遺跡から後期～晩期の土器が出土している。本村遺跡では、土器が出土していないため時期は明確ではないが、落し穴状土坑が検出されている。

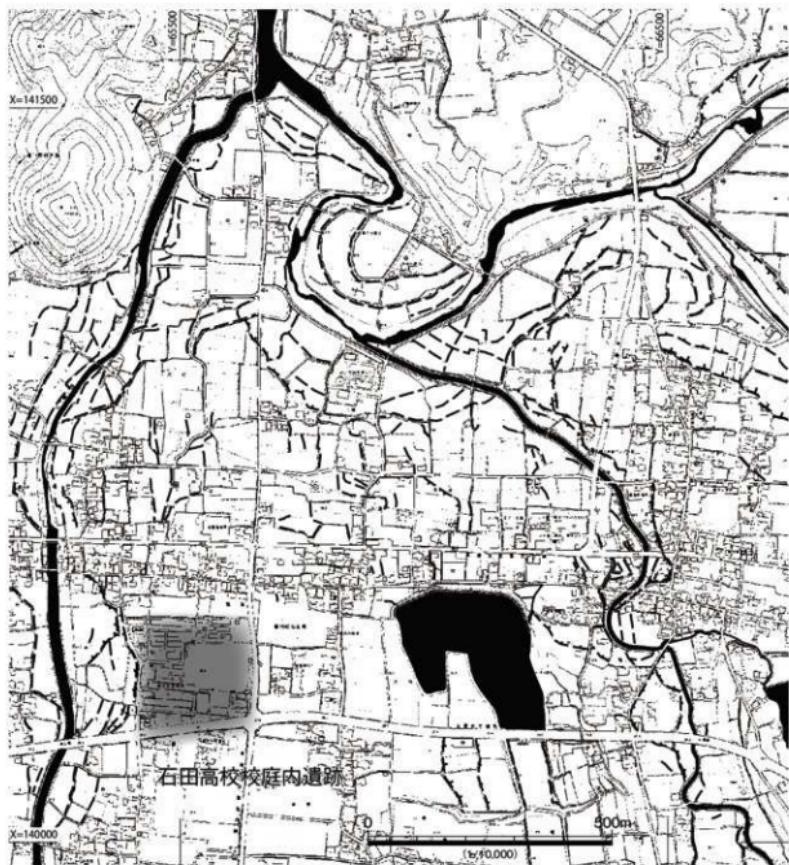
弥生時代

前期については、石田高校校庭内遺跡で包含層中から土器が出土している。また、神前遺跡から弥生時代前期後半の土器が出土している。

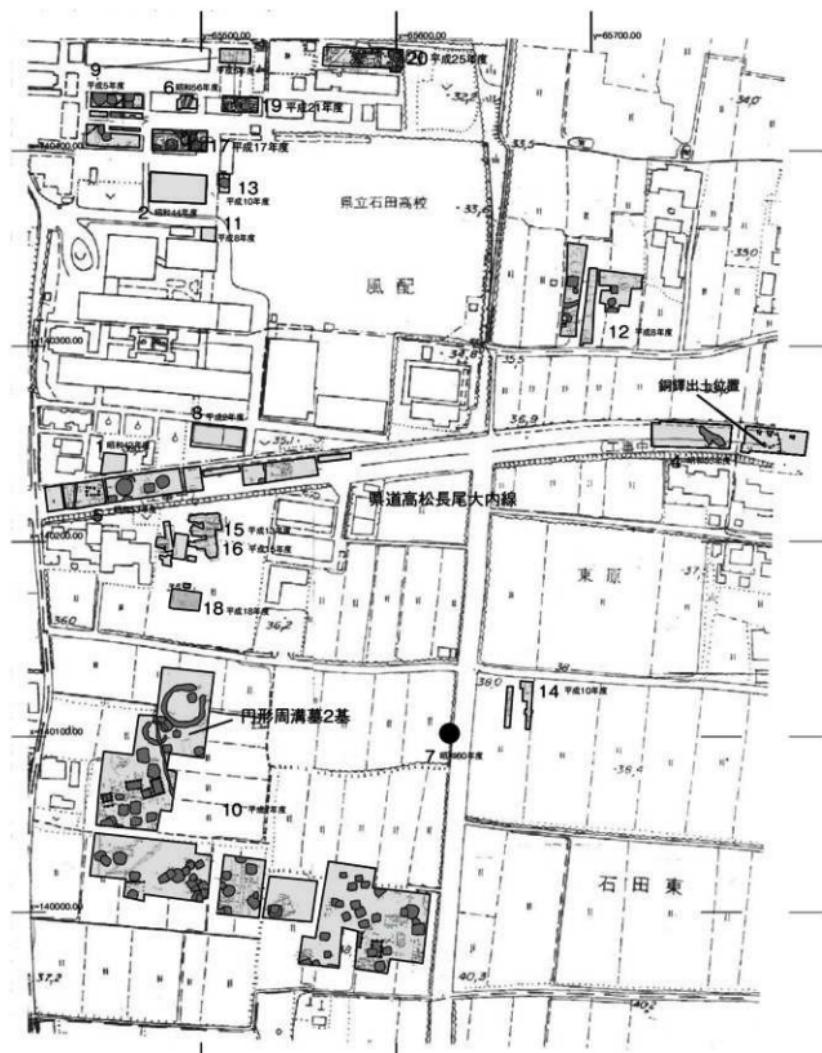
中期には丘陵上に天王山遺跡、石田神社弥生遺跡、義神弥生遺跡、極楽寺弥生遺跡、布施遺跡などの高地性集落が確認されている。

弥生時代後期～終末期

いわゆる森広遺跡群と称される遺跡群が展開する時期である。平地部微高地に集落跡が検出され、青銅器、鉄器が出土する遺跡がある。青銅器出土遺跡としては、石田神社弥生遺跡から平形銅劍3口、森広天神弥生遺跡からは巴形銅器8点、加藤遺跡からは銅鐸破片7点が出土している。また、森広遺跡群から北東へ離れたところにある寺田・産宮通遺跡からは、小型彷製鏡が出土している。



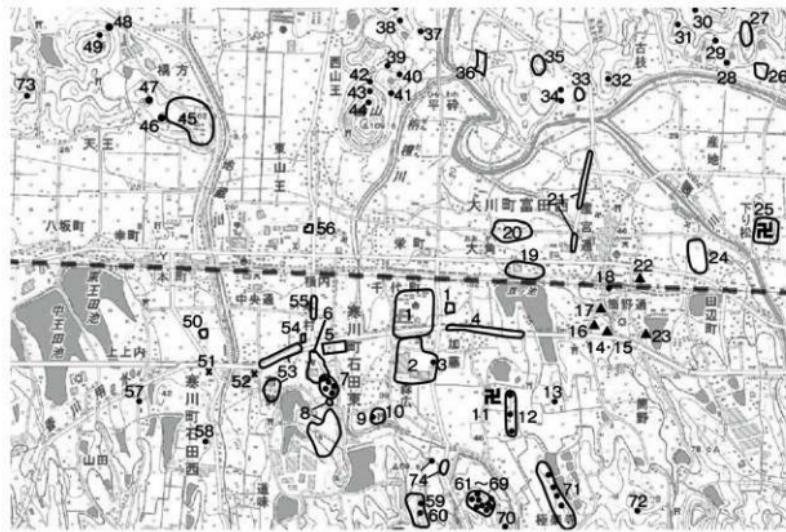
第2図 周辺地形図



第3図 既往の調査位置図

第1表 森広遺跡群 既往の発掘調査一覧

| 番号 | 調査地名称 | 調査年度 | 調査主体 | 調査原因 | 主な遺構・遺物 | 文献等 |
|----|----------------------|-------|---|--------------------------------------|--|---|
| 1 | 石田高校校庭内遺跡 | 昭和42年 | 香川県教育委員会 寒川町教育委員会 県立石田高校 校舎等建物 | 弥生時代 墳穴建物 | | |
| 2 | 石田高校校庭内遺跡 | 昭和44年 | 香川県教育委員会 寒川町教育委員会 県立石田高校 駐輪場建設 | 弥生時代 墳穴建物 | | |
| 3 | 加藤遺跡 | 昭和52年 | 香川県教育委員会 県道高松長尾大内線建設 | 弥生時代 墳穴建物 | 番号4の東隣接地 | |
| 4 | 森広遺跡Ⅱ (加藤遺跡) | 昭和53年 | 香川県教育委員会 県道高松長尾大内線建設 | 土坑墓 銅鐸 | 「香川県埋蔵文化財年報」香川県教育委員会 1979 | |
| 5 | 森広遺跡Ⅲ (石田高校校庭内遺跡) | 昭和53年 | 香川県教育委員会 県道高松長尾大内線建設 | 弥生時代～中世 古代漆 弥生土器、須恵器、土器 | 「香川県埋蔵文化財年報」香川県教育委員会 1979、「森広遺跡発掘調査実績報告」香川県教育委員会 1979 | |
| 6 | 石田高校校庭内遺跡 | 昭和56年 | 香川県教育委員会 農業実習室改築 | 古代 埴塗状遺構 | 「香川県埋蔵文化財調査年報 昭和56年度」1982 | |
| 7 | 森広東遺跡 | 昭和60年 | 個人不時発見 | 県道田面富田西綫建設 | 遺植1 | 他にも2つあったとの聞き取り、郷川信見「寒川町森広発見の遺植について」[『瀬戸内海の史民俗資料叢友の会だより』第16号] 1987 |
| 8 | 石田高校校庭内遺跡 | 平成2年 | 香川県教育委員会 土木施工実習室建設 | かく壺・遺構なし | 「香川県埋蔵文化財調査年報 平成2年度」香川県教育委員会 1991 | |
| 9 | 石田高校校庭内遺跡 | 平成5年 | 香川県教育委員会 県立石田高校 実習棟改築 | 弥生時代～中世 墳穴建物、溝 | 「石田高校校庭内遺跡発掘調査報告書」香川県教育委員会 1993、「香川県埋蔵文化財調査年報 平成5年度」香川県教育委員会 1994 | |
| 10 | 森広遺跡 | 平成7年 | 寒川町教育委員会 大型店舗建設 | 弥生時代 墳穴建物、掘立柱遺物、円形周溝墓・甕棺 | 「大型店舗建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」寒川町教育委員会 1997 | |
| 11 | 石田高校校庭内遺跡 | 平成8年 | 香川県教育委員会 県立石田高校 冷房施設設置 | 弥生時代 墳穴建物2種 | 「香川県埋蔵文化財年報 平成8年度」香川県教育委員会 1997 | |
| 12 | 石田高校校庭内遺跡 | 平成8年 | 寒川町教育委員会 宅地造成 | 弥生時代・古墳時代 埴輪・土坑・堅穴 遺物 | 「香川県埋蔵文化財年報 平成8年度」香川県教育委員会 1997, 「宅地建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 石田高校校庭内遺跡」寒川町教育委員会 1997 | |
| 13 | 石田高校校庭内遺跡 | 平成10年 | 香川県教育委員会 県立石田高校 部室増築 | 弥生時代 墳穴建物1種 | 「香川県埋蔵文化財年報 平成10年度」香川県教育委員会 2000 | |
| 14 | 森広遺跡 | 平成10年 | 寒川町教育委員会 集会場建設 | 弥生時代・古墳時代 埴輪・土坑・堅穴 遺物、甕棺・横穴火石室 | 「香川県埋蔵文化財年報 平成10年度」香川県教育委員会 2000 | |
| 15 | 森広遺跡 | 平成13年 | 寒川町教育委員会 民間店舗建設 | 弥生時代後期・古代 墳建物、溝・柱穴 | 「香川県埋蔵文化財年報 平成13年度」香川県教育委員会 2003 | |
| 16 | 森広遺跡 | 平成15年 | さぬき市教育委員会 ガソリンスタンド建設 | 弥生時代・古代 墳建物 | 「香川県埋蔵文化財年報 平成15年度」香川県教育委員会 2005 | |
| 17 | 石田高校校庭内遺跡 | 平成17年 | 香川県教育委員会 県立石田高校 造園実習棟新築 | 弥生時代・古代 墳穴建物、溝 | 「香川県埋蔵文化財センター年報 平成17年度」香川県埋蔵文化財センター 2006 | |
| 18 | 森広遺跡 | 平成18年 | さぬき市教育委員会 ガソリンスタンド拡張 | 弥生時代・古墳時代 墳穴建物 | 「香川県文化財年報 平成18年度」香川県教育委員会 2008, 「ガソリンスタンド建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 森広遺跡」さぬき市教育委員会 2007 | |
| 19 | 石田高校校庭内遺跡 | 平成21年 | 香川県教育委員会 県立石田高校 堆肥貯貯庫建設 | 古代 溝路・銅鐸 | 「香川県埋蔵文化財センター年報 平成21年度」香川県埋蔵文化財センター 2010 | |
| 20 | 石田高校校庭内遺跡 | 平成25年 | 香川県教育委員会 県立石田高校 藉舍移転等 | 弥生時代・古墳時代 墳穴建物、銅鏡 | 「香川県埋蔵文化財センター年報 平成25年度」香川県埋蔵文化財センター 2014 | |



----- 推定旧南海道跡 -----

| | | |
|----------------|----------------|---------------|
| 1 石田高校校庭内遺跡 | 26 宮町遺跡 | 51 宗任神社遺跡 |
| 2 森広遺跡 | 27 古枝6号遺跡 | 52 布勢荒神遺跡 |
| 3 森広東遺跡 | 28 古枝古墳 | 53 布施弥生遺跡 |
| 4 加藤遺跡 | 29 古枝7号遺跡 | 54 本村遺跡 |
| 5 森広遺跡 | 30 古枝8号遺跡 | 55 本村・横内遺跡 |
| 6 石田城跡(小十九間城跡) | 31 古枝9号遺跡 | 56 横内遺跡 |
| 7 石田神社境内古墳群 | 32 古枝西遺跡 | 57 赤山西古墳 |
| 8 石田神社弥生遺跡 | 33 大井遺跡 | 58 自動車学校南古墳 |
| 9 森広天神古墳 | 34 落合古墳 | 59 義神1号墳(義神塚) |
| 10 森広天神弥生遺跡 | 35 大井西遺跡 | 60 義神2号墳 |
| 11 極楽寺廃寺跡 | 36 大井城跡 | 61 義神4号墳 |
| 12 相山古墳群 | 37 吉金3号墳 | 62 義神5号墳 |
| 13 中尾古墳 | 38 吉金2号墳 | 63 義神6号墳 |
| 14 簡野窯跡1号 | 39 平碎2号墳 | 64 義神7号墳 |
| 15 簡野窯跡2号 | 40 平碎1号墳 | 65 義神8号墳 |
| 16 香川製陶KK窯跡 | 41 平碎3号墳 | 66 義神9号墳 |
| 17 南洋窯跡 | 42 金山3号墳 | 67 義神10号墳 |
| 18 簡野傘仏 | 43 金山2号墳 | 68 義神11号墳 |
| 19 寺田大角遺跡 | 44 金山1号墳 | 69 義神12号墳 |
| 20 寺田遺跡 | 45 天王山弥生遺跡 | 70 極楽寺墳墓群 |
| 21 寺田・産宮通遺跡 | 46 天王1号墳 | 71 極楽寺弥生遺跡 |
| 22 向城窯跡 | 47 天王2号墳 | 71 極楽寺古墳群 |
| 23 平尾窯跡 | 48 野間田東1号墳 | 72 上簡野横穴式古墳 |
| 24 田辺遺跡 | 49 野間田東2号墳 | 73 双子塚古墳 |
| 25 下り松遺跡 | 50 国弘城跡(細川屋敷跡) | 74 義神弥生遺跡 |

第4図 周辺遺跡分布図

墓跡は、平地微高地上及び丘陵上から見つかっている。平地では、当遺跡南側に隣接する森広遺跡（平成6年度寒川町教育委員会調査）から円形周溝墓及び土器棺が検出されている。今回報告対象地の東側にあたる石田高校校庭内遺跡（平成8年度寒川町教育委員会調査）でも、円形周溝墓が検出されている。また、森広遺跡東側にある森広東遺跡及び森広遺跡（平成10年度寒川町教育委員会調査）で土器棺が見つかっている。丘陵上では、奥墳墓群、大井遺跡及び時期はやや新しい可能性もあるが極楽寺墳墓群などがある。

古墳時代前期

奥古墳群が築造されるが、前期後半になると古墳の築造は衰退し、これに合わせるかのように森広遺跡群も衰退していく。

古墳時代中期から後期前半

中期には古墳の主体は、奥古墳群の北西に位置する寺尾古墳群になる。中期後半になると大井七つ塚古墳群や石田神社境内古墳群が形成され、大井七つ塚古墳群は後期前半頃まで継続する。この時期の集落遺跡は確認されていない。

古墳時代後期後半～7世紀前半

天王山古墳群、大末古墳群、箕神古墳群、相ノ山古墳群、極楽寺古墳群が形成される。6世紀末頃には大型横穴式石室を持つ中尾古墳が築造されている。集落遺跡としては、わずかに石田高校校庭内遺跡（平成8年度寒川町教育委員会調査地）や森広遺跡（平成6年度寒川町教育委員会調査地）で7世紀前半と考えられる竪穴建物跡が確認されているに過ぎない。

7世紀中葉～後半

一部の例外を除き、古墳時代以降の竪穴建物のはほとんどはこの時期に属するものと考えられる。森広遺跡（平成6年度寒川町教育委員会）では、この時期に竪穴建物から掘立柱建物への変換が推定されており、平安時代にかけて掘立柱建物は主軸方向が北西から座標北方向へと変わるとされている。寺田・産宮通遺跡では7世紀中葉頃の大型掘立柱建物を含む遺構群が検出されている。旧大川町の千町遺跡は、旧南海道の推定地より南へ約200mに位置するが、大型の柱穴を持つ掘立柱建物跡が検出されている。また、古代寺院築造の時期であり、極楽寺廃寺や石井廃寺が知られている。旧南海道跡は当遺跡の北約80mのところに推定されている。

8世紀

石田高校校庭内遺跡（昭和53年度調査）では、8世紀前半の溝跡から土師器、須恵器のはか東北系とされる黒色土器等が出土しており、当該期の土器編年の基準資料とされている。

8世紀後半では、県内でも最も新しいと考えられる竪穴建物跡が本村遺跡で検出されている。出土した黒色土器を含め、関東以東の影響が見られる特異な建物である。また、本村・横内遺跡では、当該期の土器編年の基準資料となる土器群が見られる。

※土器編年については、佐藤竜馬「讃岐における古代～中世土器編年をめぐる基礎作業（1）」『香川県埋蔵文化財センター年報平

成 26 年度』2016 よる。

9～10世紀

本村・横内遺跡では、掘立柱建物群が検出されている。

中世前半

寺田・産宮通遺跡で集落跡が検出されている。本村・横内遺跡の掘立柱建物も当時期と考えられる。石田高校校庭内遺跡(平成5年度調査)では、足釜破片が出土したピット群や瓦器碗を出土した井戸がある。

中世末～近世

本村遺跡では、2 時期の建物群が検出されている。

章記述にあたり、以下の文献を参考にした。

- 『石田高校校庭内遺跡発掘調査報告書』香川県教育委員会 1993
- 『大川町の埋蔵文化財』大川町教育委員会 1993
- 『千町遺跡発掘調査報告書 富田駐在所改築に伴う事前調査』香川県教育委員会 1995
- 『大型店舗建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 森広遺跡』寒川町教育委員会 1997
- 『宅地建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 曲田高校校庭内遺跡』寒川町教育委員会 1997
- 『極楽寺墳墓群』『香川県埋蔵文化財調査年報 平成9年度』香川県教育委員会 1999
- 『県道改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 八丁地遺跡 本村・横内遺跡』香川県教育委員会 2000
- 『大川南部農免農道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 袞神古墳群』さぬき市教育委員会 2003
- 『県道富田西志度線道路改良工事及び県道高松長尾大内線道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 寺田・産宮通遺跡 南天枝 遺跡』香川県教育委員会 2003
- 『ガソリンスタンド建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 森広遺跡』さぬき市教育委員会 2007
- 『統合中学校建設関連発掘調査事業報告書 寺田遺跡発掘調査報告書』さぬき市教育委員会 2012
- 『大型店舗建設に伴う発掘調査事業報告書 本村遺跡発掘調査報告書』さぬき市教育委員会 2014
- 佐藤寛馬「讃岐における古代～中世土器編年をめぐる基礎作業（1）」「香川県埋蔵文化財センター年報平成26年度」2016

第3章 調査の成果

第1節 平成17年度調査

1 調査の方法

発掘作業員を直接雇用して調査を実施した。

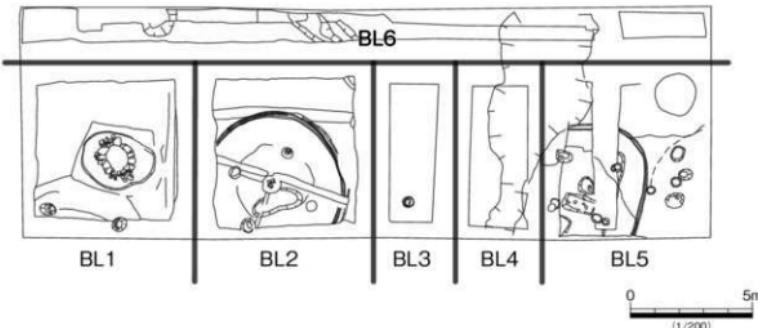
平面図の作成は、手書き図面とトータルステーションを使用した遺構実測支援システム「遺構くん」を併用して行った。断面図は、手書きで作成した。写真撮影は、デジタルカメラを中心、一部 6×7 のモノクロフィルム及びポジフィルムで実施した。

調査地は、後世の擾乱により、遺構が残っている部分が鳥状の区画に分かれていることから、これを調査区画名 BL1 から BL6（第5図）とした。

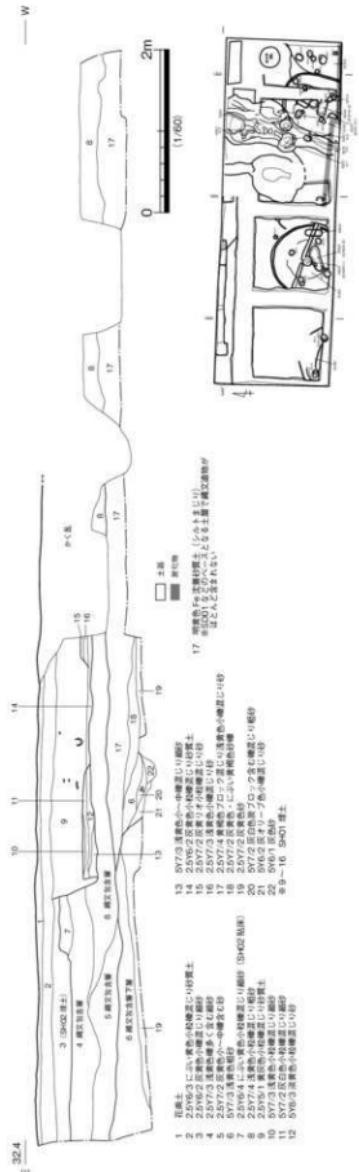
2 層序

調査区全体において後世の擾乱が著しいことから、基本層序は把握しがたい部分が多いが、調査区東壁と南壁東端部分（第6・7図）が、把握しやすい箇所である。それによれば、現地表下、花崗土や造成土約30cmの厚さがあり、その下が弥生時代から古代の遺構検出面となっている。また、この遺構検出面での基盤層は、縄文土器を包含する層となっている。この層は、粗砂の堆積が主体となっており、弥生時代以前に川による氾濫により堆積したものと考えられる。

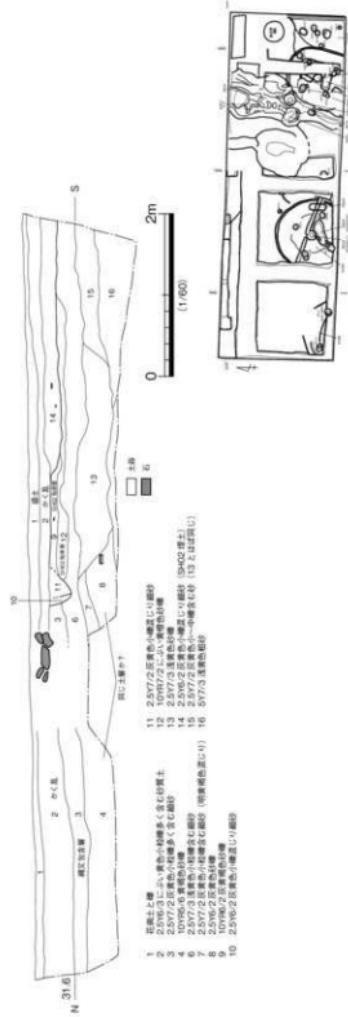
遺構検出面の標高は、318m付近となっており、調査区内で大きな違いはない。



第5図 調査区名図



第6図 南東壁断面図



第7図 調査区東壁 (SHO2含む) 土層断面図

3 遺構、遺物

(1) 繩文時代（第8図）

弥生時代以降の遺構面は、縄文土器を包含する層となっている。縄文土器は、後世の遺構から出土したもののはかに、分布図を作成して取り上げたものが183点あり、調査区東半特に東端部から集中的に出土している。同じく石器は26点出土している。

縄文土器（第9図）

1～5は後世の遺構から出土したものである。いずれも少破片で時期は不明である。6～9は、縄文包含層から出土したものである。8は口縁部付近とみられる破片で、渦巻文があることから後期前葉頃の縁帶文土器と考えられる。9は中期末北白川C式古段階墳のものと考えられる。

※9の年代については、国立文化財機構奈良文化財研究所玉田芳英氏から御教示を得た。

石器（第9図10～12）

いずれも分布図を作成して取り上げた石器である。石材はサスカイトである。

SK08

縄文土器包含層の掘削後に検出した。埋土から炭が出土している。不定形な形状であり、遺構かどうかは疑問である。遺物は出土していない。

第6図南東壁断面図では6、20、21、22層がSK08である。

SP49(第10図)

調査時には、縄文包含層下層で検出され風倒木痕とされているが、根柢は不明である。

出土遺物は無い。

(2) 弥生時代後期～終末期（第11図）

弥生時代の遺構としては、竪穴建物跡及び溝跡がある。

竪穴建物跡

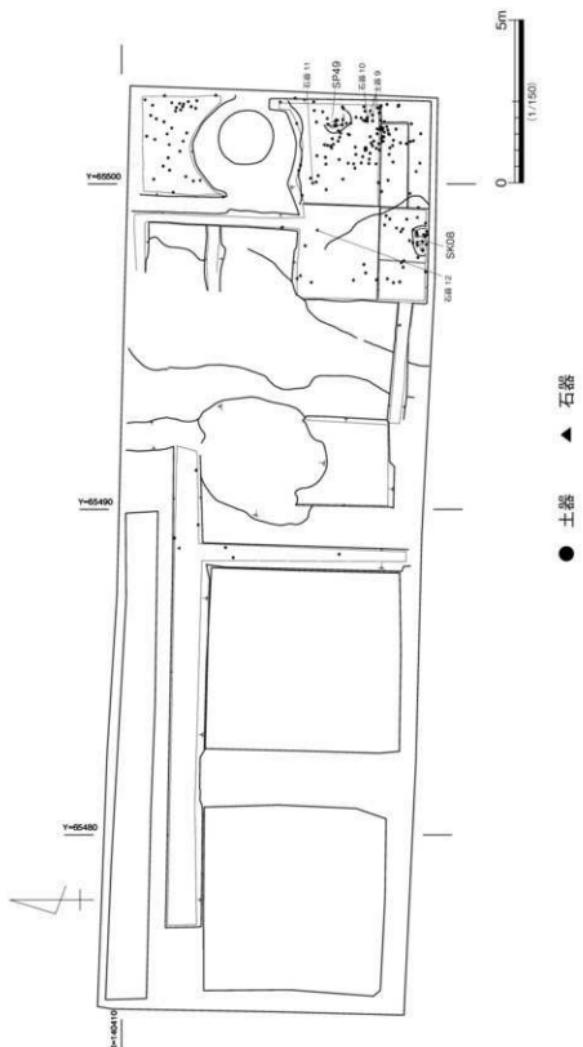
SH01（第12～15図）

平面形は、隅丸方形である。4主柱穴、中央土坑、壁溝、ベッド状遺構を持つ。SD01より新しく、SH01の貼床除去後SD01の多量の土器を検出している。

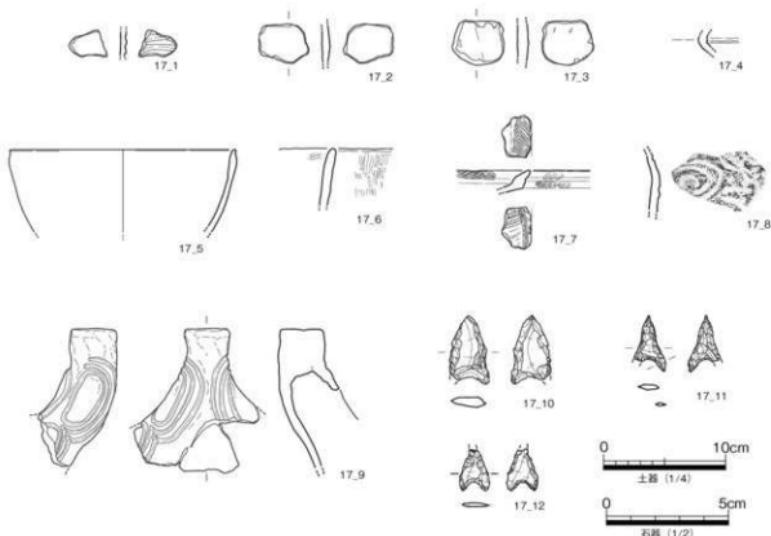
主柱穴は4穴で、北東隅と南西隅で新旧関係が認められ、またSP48はSP27の検出面より下から検出されたことから、1回の建て替えが想定できる。柱穴の新旧関係と配置から第12・13図のとおり2時期の建物を想定した。主軸方位は、約N15°Eである。

出土遺物については、建物床面から出土したものは、弥生土器13～18及び石製品19である。小型の鉢が主体を占める。19は砥石である。20～27は「下段部埋土」から出土したもので、床面と上層の間から出土したものと考えられる。27は小型台付き土器である。28～46は埋土「上層」から出土した土器である。同じく鉄器47が出土している。48～51は「貼床層」から出土した土器である。同じく石器52・53が出土している。54～58は出土層位が不明なものである。58は製塩土器と考えられる。

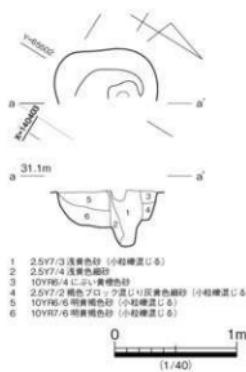
SK03とSK04は、平面形が円形と長方形で、2つがセットになっていわゆる「1〇」系土坑と呼ばれるものである。SK03には、焼土は見られない。埋土からは径10cm程度の礫や土器が出土している。



第8図 綱文時代出土遺物分布図

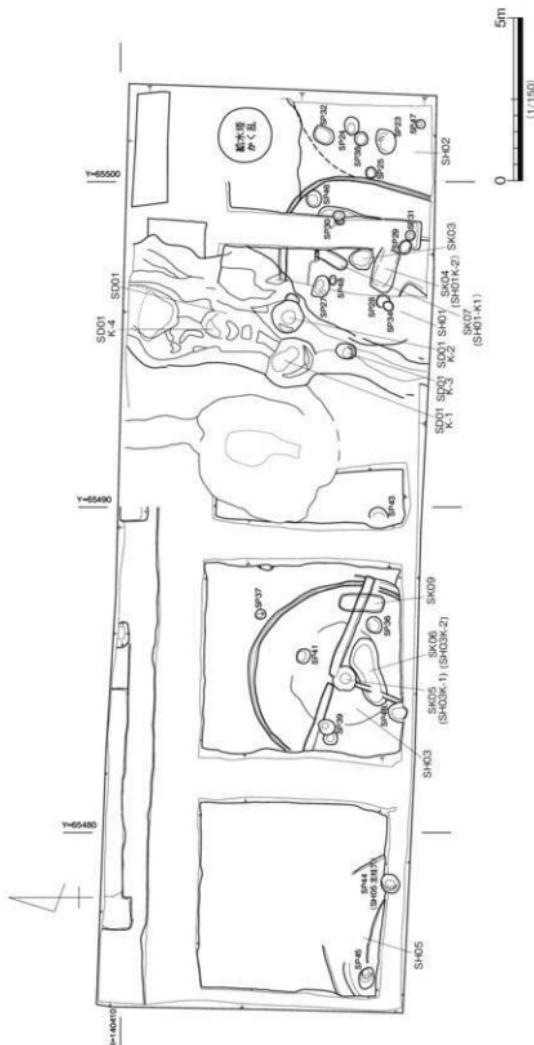


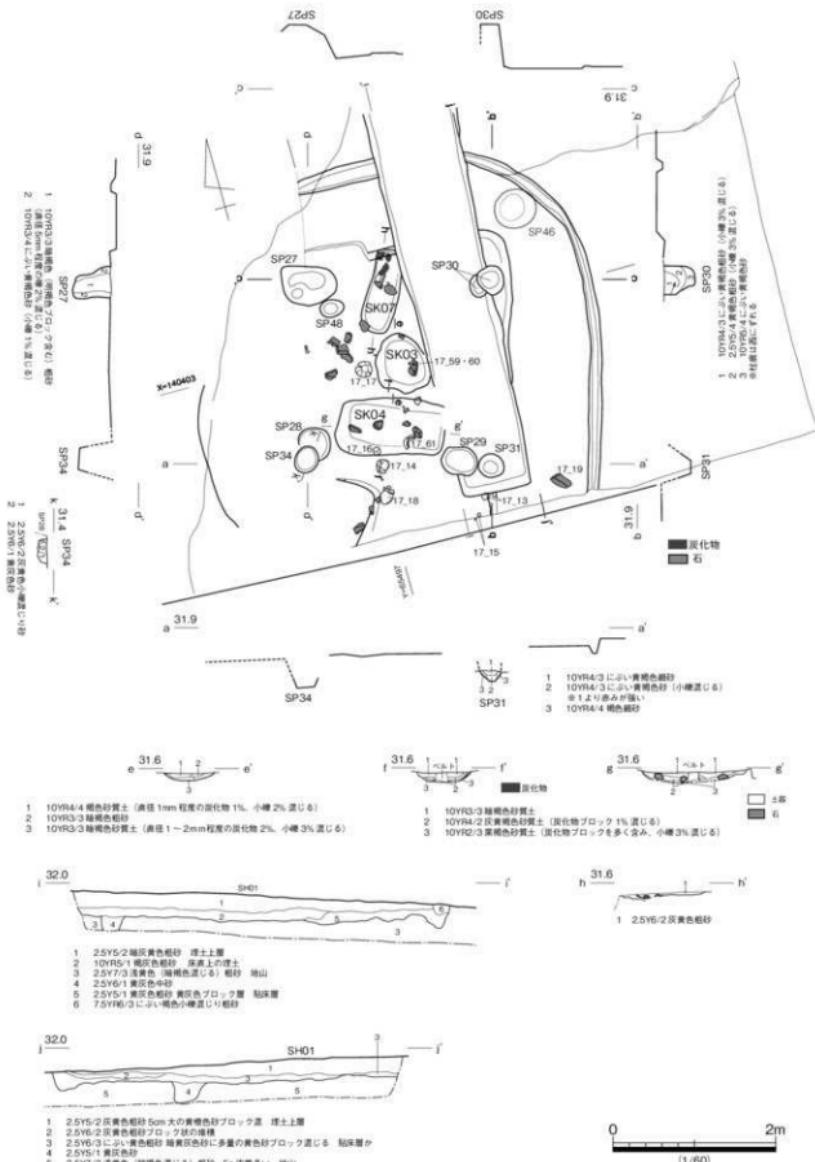
第9図 縄文包含層遺物実測図



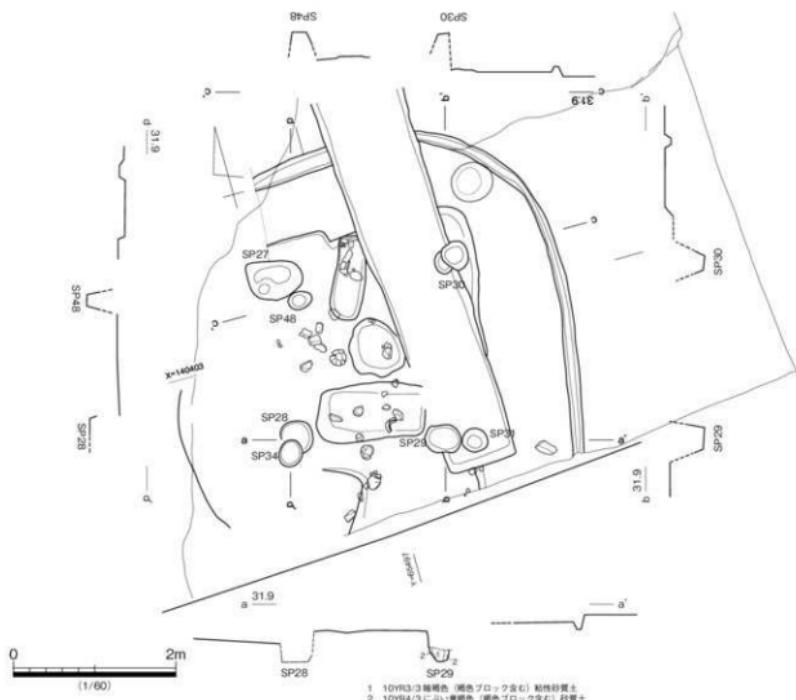
第10図 SP49 平・断面図

第11図 弥生時代遺構平面図

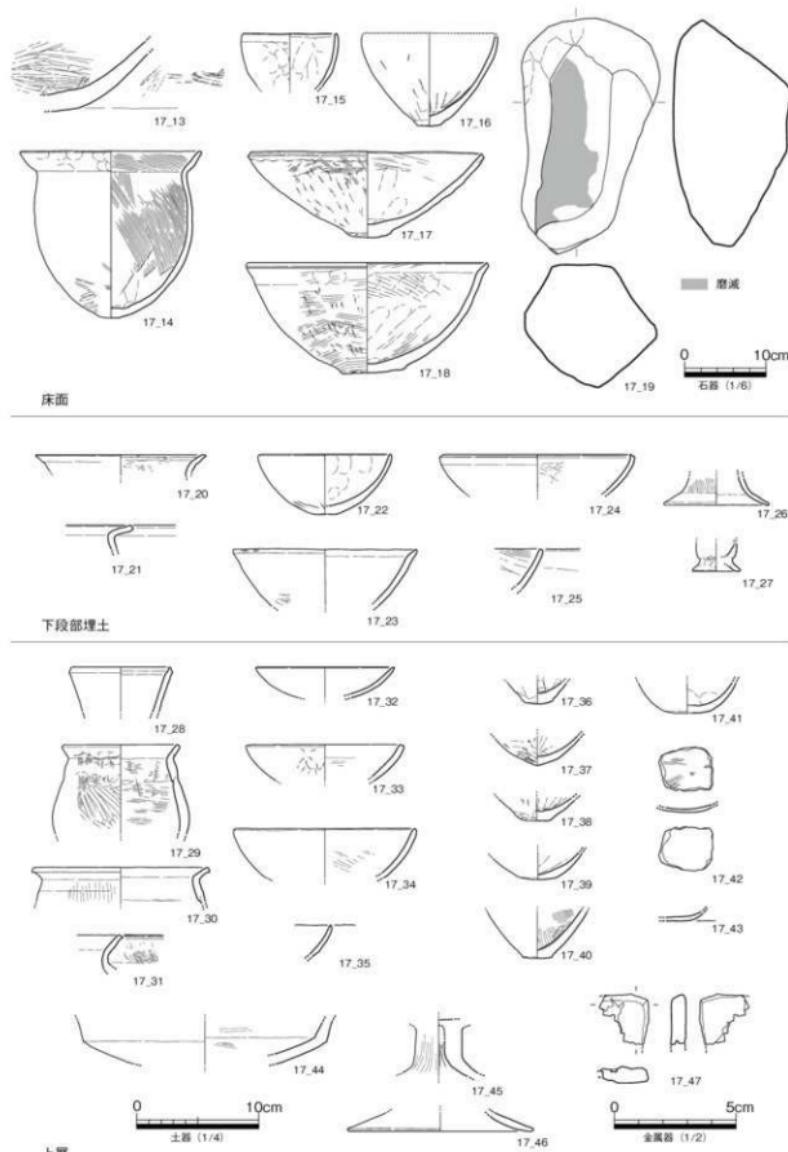




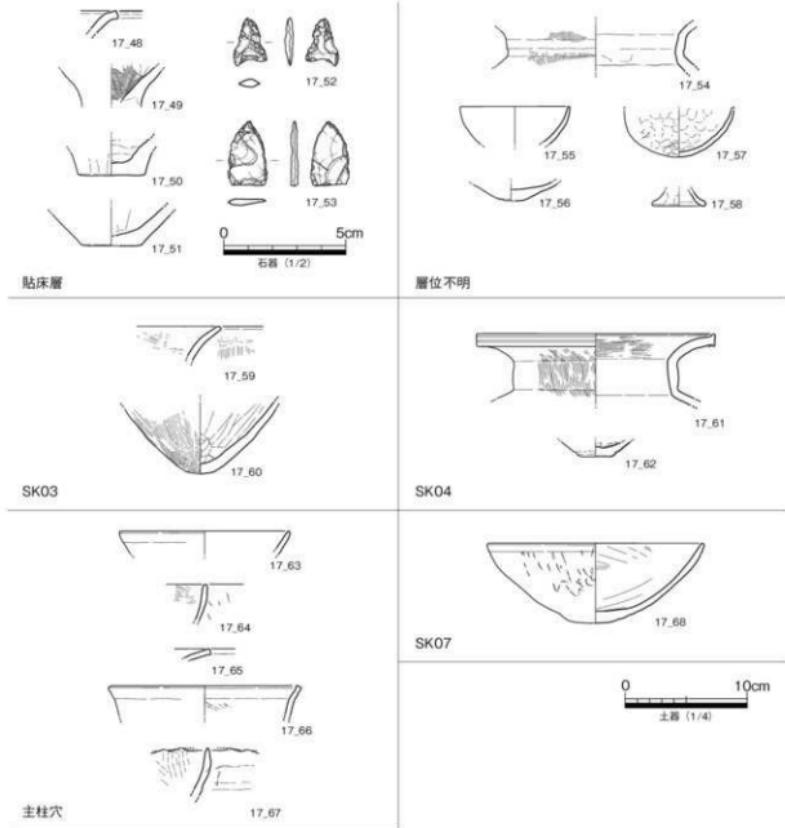
第12図 SH01平・断面図



第13図 SH01古段階平・断面図



第14図 SH01 遺物実測図1



第15図 SHO1 遺物実測図2

前掲土器17はSK03検出面で出土した。土器59・60は、埋土から出土した。

SK04は、底部に炭化物を多く含む。埋土からは径10cm程度の礫や土器が出土している。前掲土器16は、SK04検出面で出土した。また、61・62は埋土から出土した。

63～67は主柱穴から出土した土器である。

SK07はSHO1の中央土坑であるSK03及びSK04の検出面では見つからず、この検出面をさらに掘削した後に検出されたこと及びSHO1のベッド状遺構よりも下にあることから、SHO1より古い遺構かSHO1の古い段階に付属する土坑の可能性がある。底部から炭化物が出土している。弥生土器68が出土している。

SH02(第 16・17 図)

SH01 より古い。調査区東壁面では、壁溝の断面が見えるが、調査区内では検出できていない。また、調査区南壁では、壁溝は SH01 に壊されているものと考えられ、ベッド状遺構と考えられる貼床の断面が観察できる。ベッド状遺構も調査区内では検出できていない。

SH02 平面図の輪郭線は、SH02 床面下部の残存した部分を示しているものと考えられる。調査区東壁断面によれば、SH02 ベッド状遺構の内端から壁溝外端までの距離は、約 1.6 m と考えられる。調査区南壁断面でみられるベッド状遺構も同様な幅とすれば、調査区南壁で第 16 図のように壁溝外側の位置が推定できる。調査区東壁及び南壁での壁溝位置と平面で確認した SH02 の輪郭線から、本来の竪穴建物の輪郭を復元すると第 16 図のようになるが、当該期のものとしては、大きすぎるようと考えられるので、複数の建物が重なっているのかもしれない。

主柱穴は明確ではない。規模からは SP23 及び SP24 が柱穴に適するが、この 2 穴は距離が近いことから、同一建物の柱穴ではないと考えられる。SP23 は最終的には廃棄土坑として使用されたものであるが、規模及び断面形からは、当初は柱穴であったと考えられる。中央土坑は検出されていない。

床面で土器が出土し、土器群 A、B として取り上げを実施した。69～72 は床面で出土した土器である。73～83 は SP23 からまとまって出土した土器である。

SH03 (第 18～22 図)

平面形は円形である。復元直径は、約 6 m である。主柱穴は 4 穴、中央土坑、ベッド状遺構、壁溝がある。床面には、炭化物及び焼土の分布が認められ、焼土は最大 40cm の長さのブロック状のものがあり、土屋根が焼失したもの可能性がある。

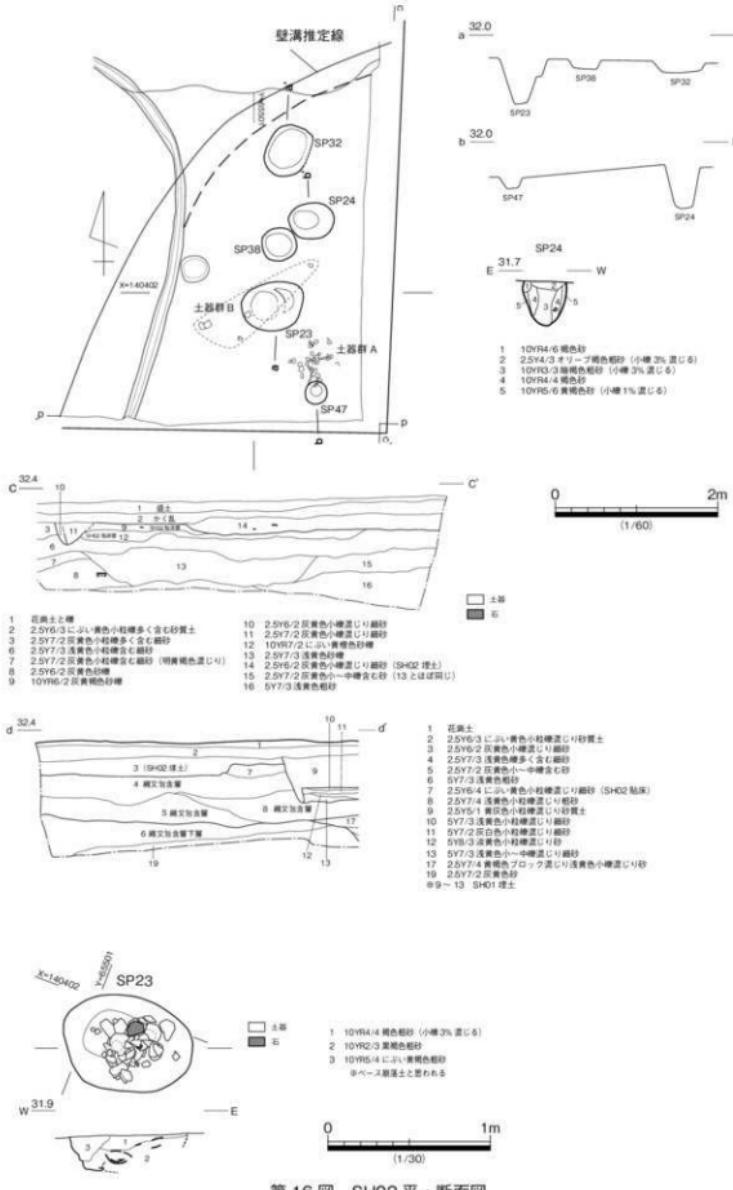
十字に設定した土層観察用畦を境界として、南東部を A 区、以下時計回りに B～D 区として、出土遺物の取り上げを行っている。層位的には「上層」「中層」「下段埋土」「貼床上面」「床面」「貼床層」として遺物を取り上げている。84～94 は「床面」から出土した土器である。同じく石器 95・96 が出土している。97・98 は「貼床上面」から出土した土器である。99～107 は「下段部埋土」から出土した土器である。同じく鐵鏹 108 が出土している。109～113 は「中層」から出土した土器である。114～133 は「上層」から出土した土器である。同じく石器 134～136 が出土している。134 は打製石斧破片、135・136 は砥石である。137・138 は「貼床層」から出土した土器である。139・140 は出土層位の不明確な土器である。

主柱穴では柱痕及び根石とみられる石が検出されている。調査時に作成した断面図では、この根石より下まで掘方があることになっているが、これが掘方かどうかは写真では検証できない。SP39 からは台石 141 が出土している。SP39 は柱痕が見られないことから、141 は柱抜き取り後に入れられたものと考えられる。

中央土坑は 2 穴で構成されるいわゆる「1〇」系土坑である。SK05 は礫を含む。礫は、基盤層には接していないようであるが、上面から見ると配置されているように見えることから、土器を支える台として使用された可能性もある。埋土から 142～145 の土器が出土している。同じく石器 146・147 が出土している。

SK06 は炭化物を多く含む。底面ほぼ全面に堆積する。148 の土器が出土している。

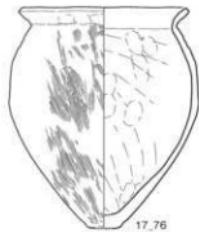
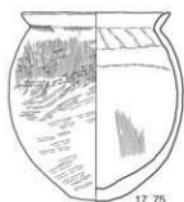
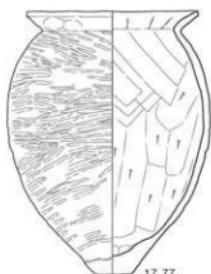
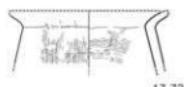
SK09 は、SH03 貼床層除去後に検出された浅い遺構である。SH03 壁溝と方向がそろうことから、



第16図 SH02平・断面図

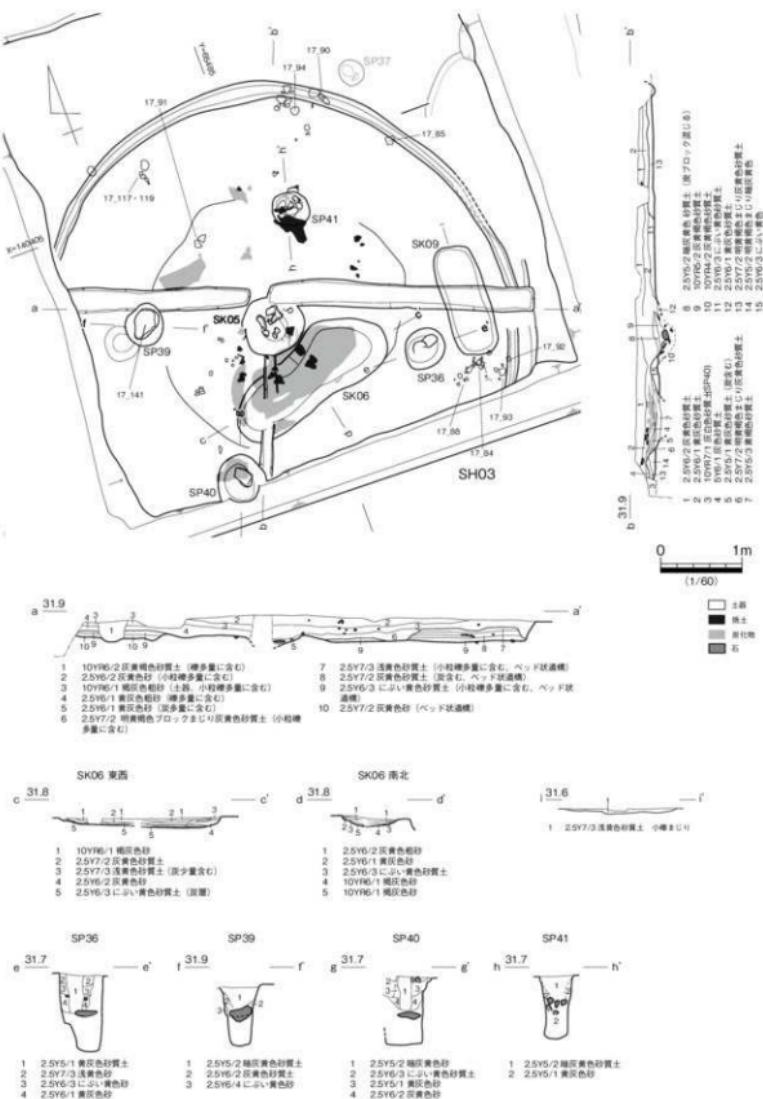


床面

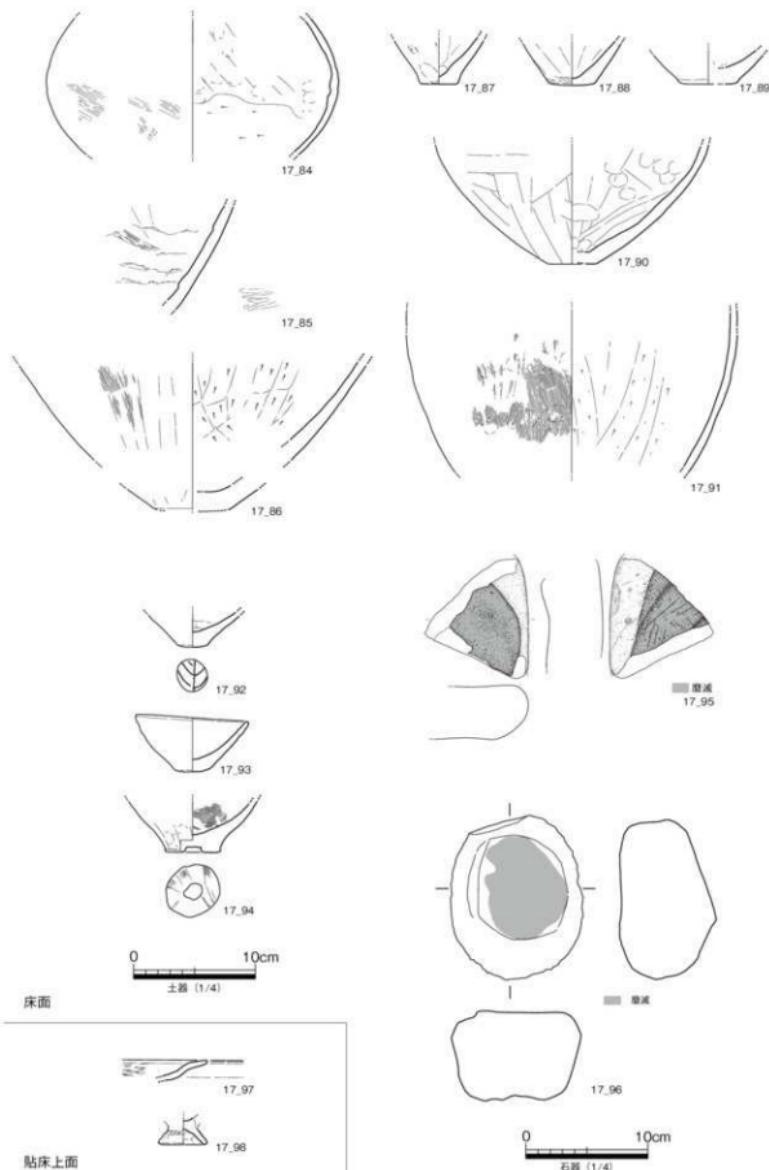


SP23

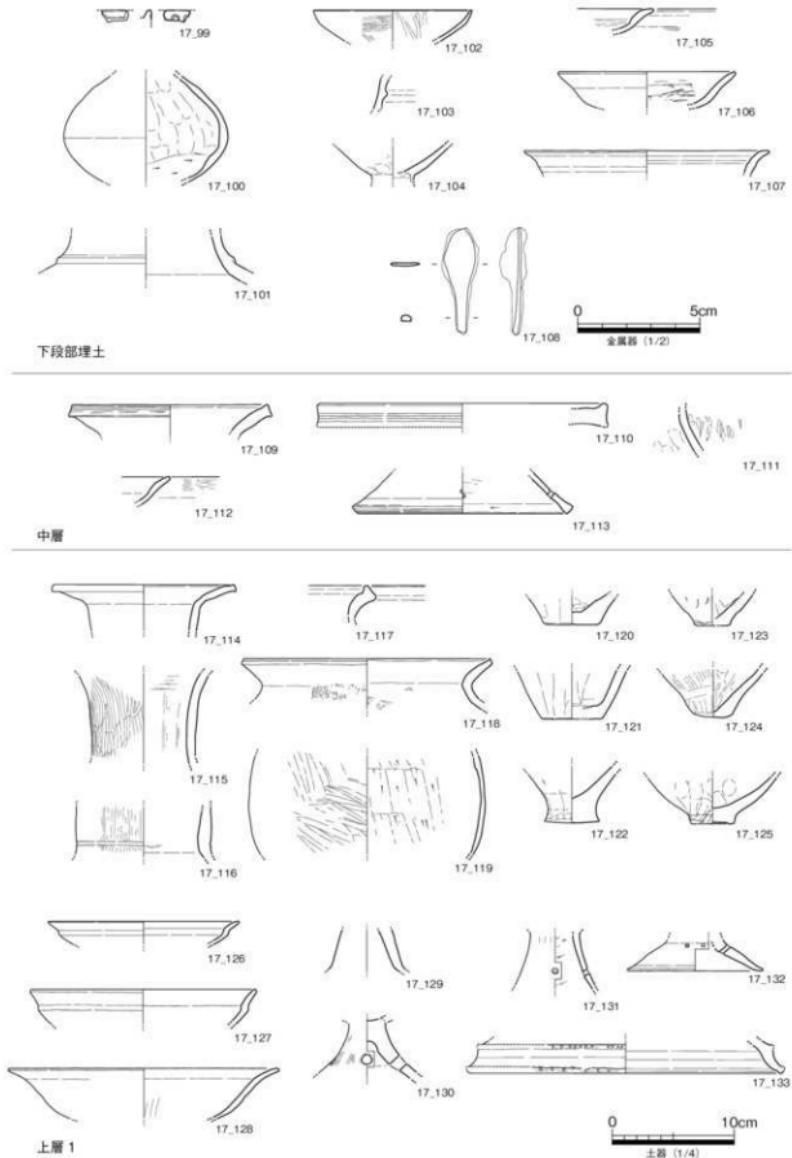
第 17 図 SH02 遺物実測図



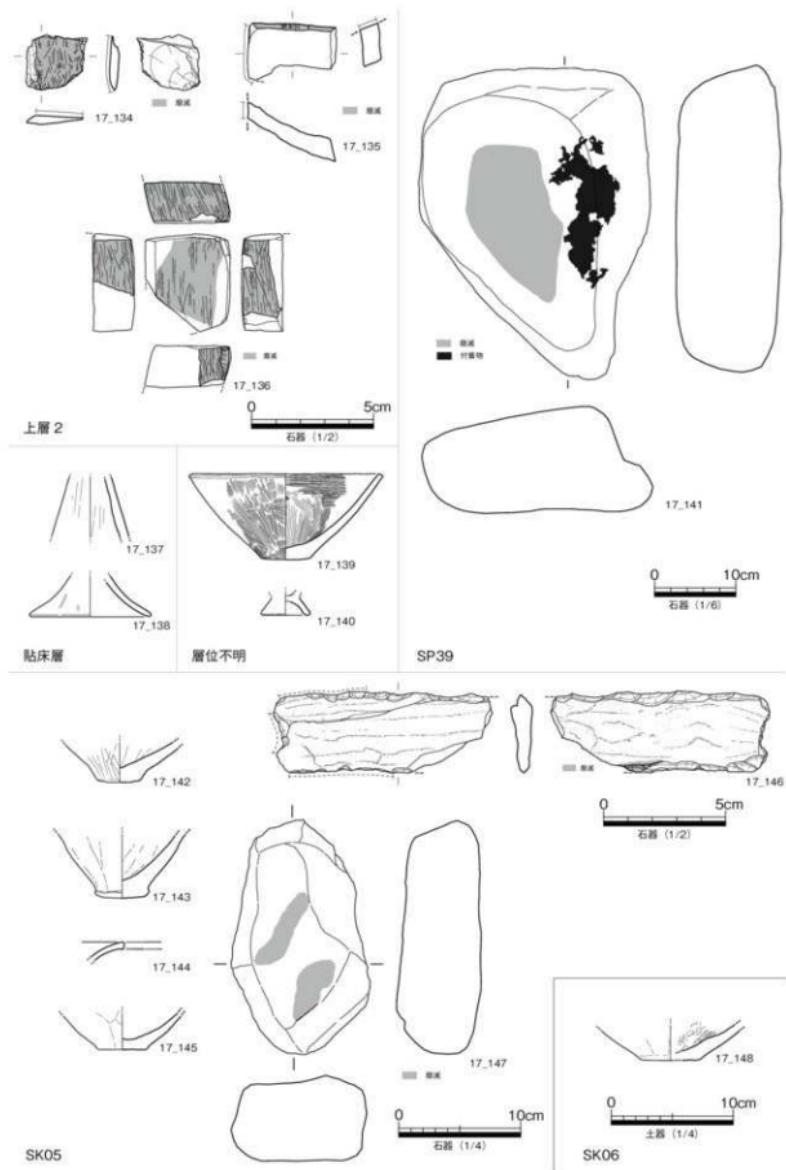
第18図 SH03平・断面図



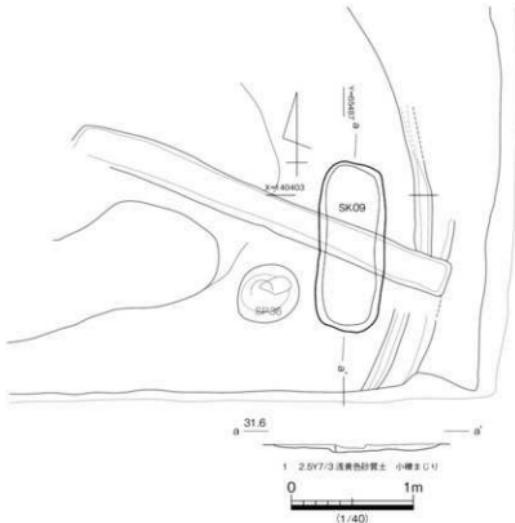
第19図 SH03遺物実測図1



第20図 SH03遺物実測図2



第21図 SH03遺物実測図3



第22図 SK09 平・断面図

SH03と関連するものと考えられる。遺物は出土していない。

SH05(第23図)

平面形は正確に把握できていない。北壁部分が不明確である。SP44とSP45が主柱穴だとすれば、平面形は方形ではなく、円形になる可能性が大きい。壁溝、中央土坑は確認されていない。149・150は貼床層から出土している。151～153は上層から出土している。SP44から154の土器が出土している。

溝跡

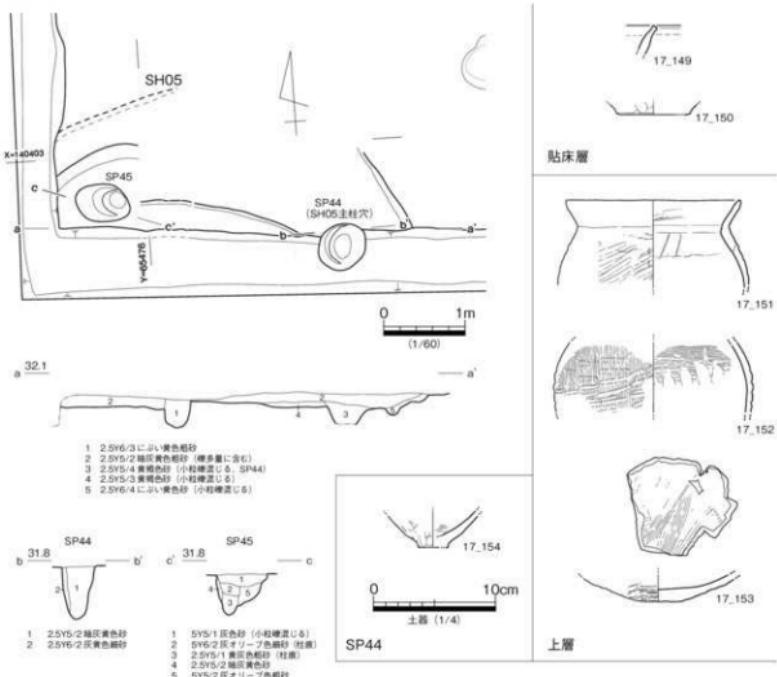
SD01(第24～45図)

土層断面からは複数回の再掘削が行われたと考えられるが、最終掘削後の埋没時(上層下部)に大量の土器が廃棄されている。これに粘土塊が混じっている。また土器焼成時の破裂により生じた土器の小破片等が多量に出土していることから、この付近で土器の焼成が行われていたと考えられる。溝底部には土坑状の掘り込みが3か所(K-1～K-3)あり、湧水地点を探して部分的に深く掘り下げたものと考えられる。

遺物の取り上げにおいては、断面aa'より北側をA区、断面aa' と bb' の間をB区、cc' より南側をC区としている。

土器の取り上げ層位は、「最下層」「下層」「中層」「中層下位」「中層上位」「上層下部の下位」「上層下部」「上層」となっている。

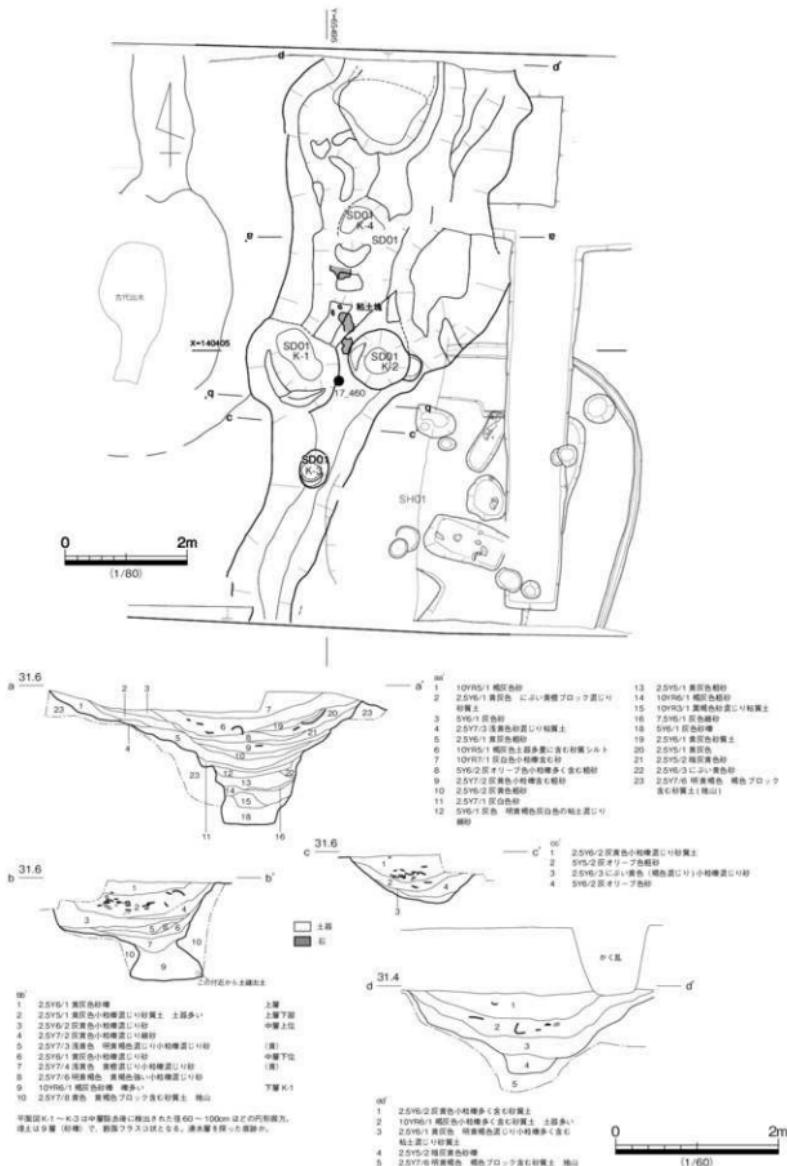
「最下層」はA区でのみ見られる。aa'断面図の14層以下が該当すると考えられる。155～158が出



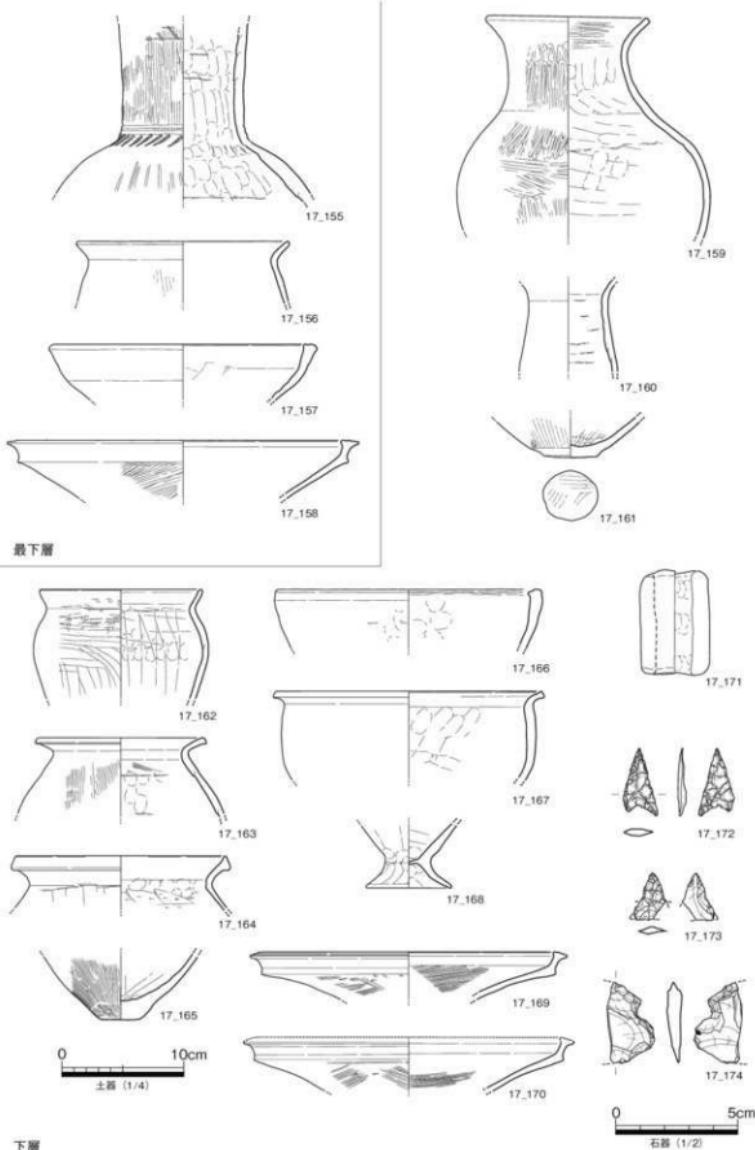
第23図 SH05 平・断面図、遺物実測図

土している。159～171は、「下層」から出土した土器である。171は有孔土錐で、土坑状の掘り込みK-1から出土した。同じく石器172～174が出土している。173は、土坑状掘り込みK-2から出土した。175～186は「中層下位」から出土した土器である。同じく結晶片岩製打製石庖丁187が出土している。188～239は「中層上位」から出土した土器である。同じくサヌカイト及び結晶片岩製打製石庖丁240・241が出土している。242～244は「中層」から出土した土器である。同じく石錐245が出土している。246～257は「上層から中層」から出土した土器である。同じく結晶片岩製打製石庖丁258が出土している。259～297は「上層下部の下位」から出土した土器である。293は把手の付く瓶と考えられる。298～316は「上層下部」から出土した土器である。同じく砥石517・518が出土している。519～538は「上層」から出土した土器である。このうち521・524はSX01調査中に取り上げたものであるが、SD01上層に帰属するものとしている。同じく石器539・540が出土している。541～544は、出土層位が不明確なものである。

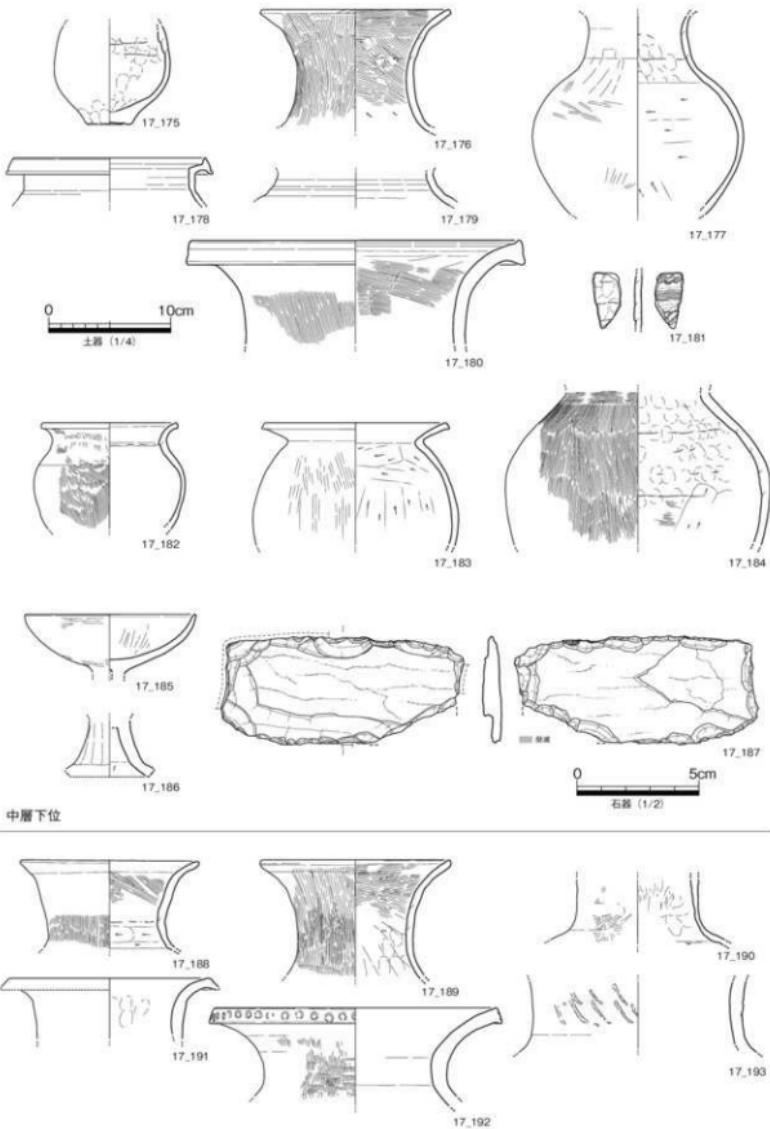
近接したところに、古代の出水状の遺構や近現代の井戸があることから、継続的に地下水を採取した場所だったことがわかる。



第24図 SD01平・断面図

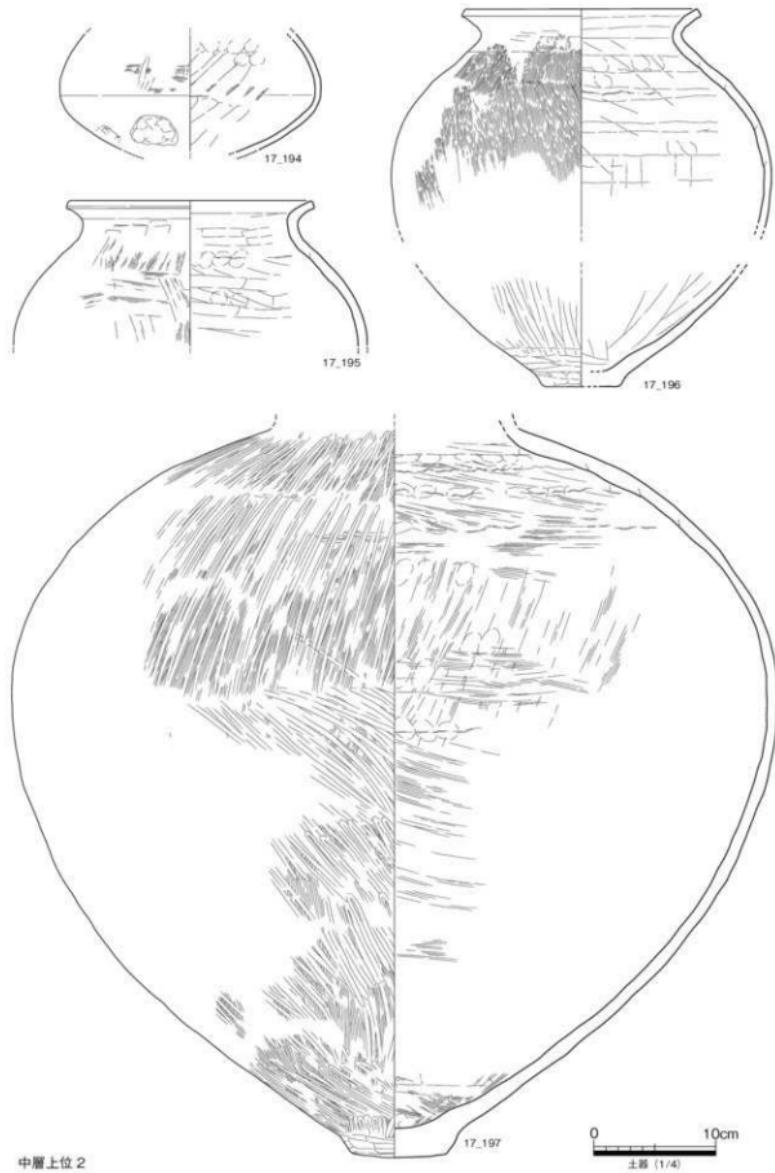


第25図 SD01 遺物実測図1



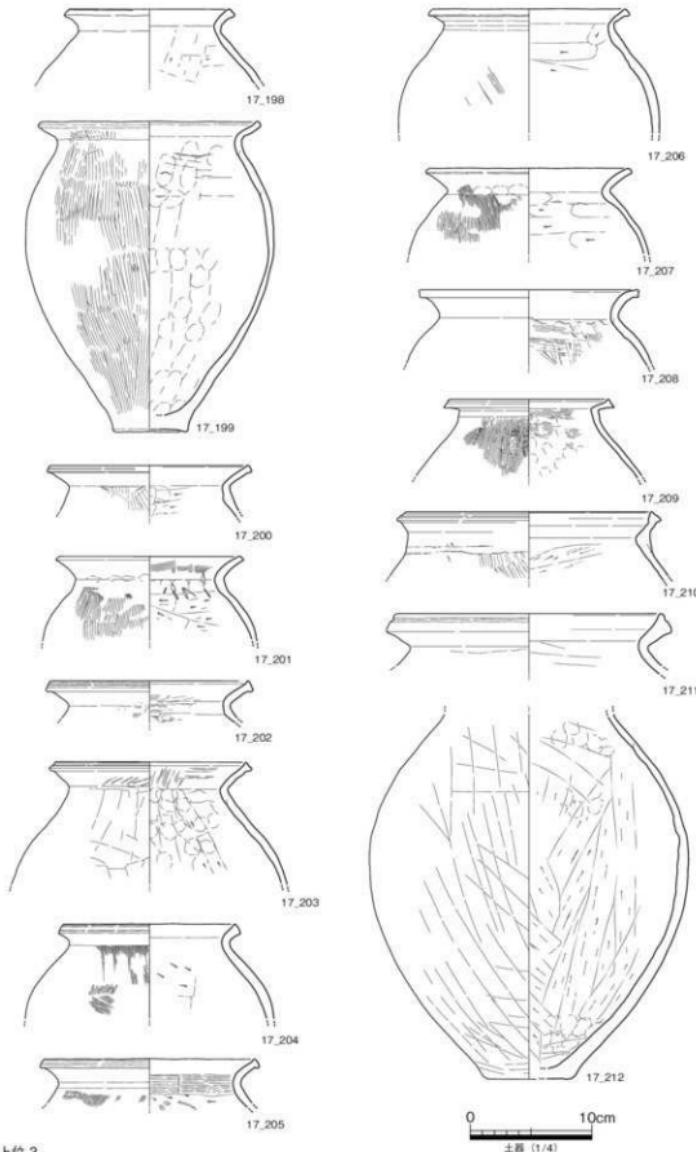
中層下位

第26図 SD01 遺物実測図2



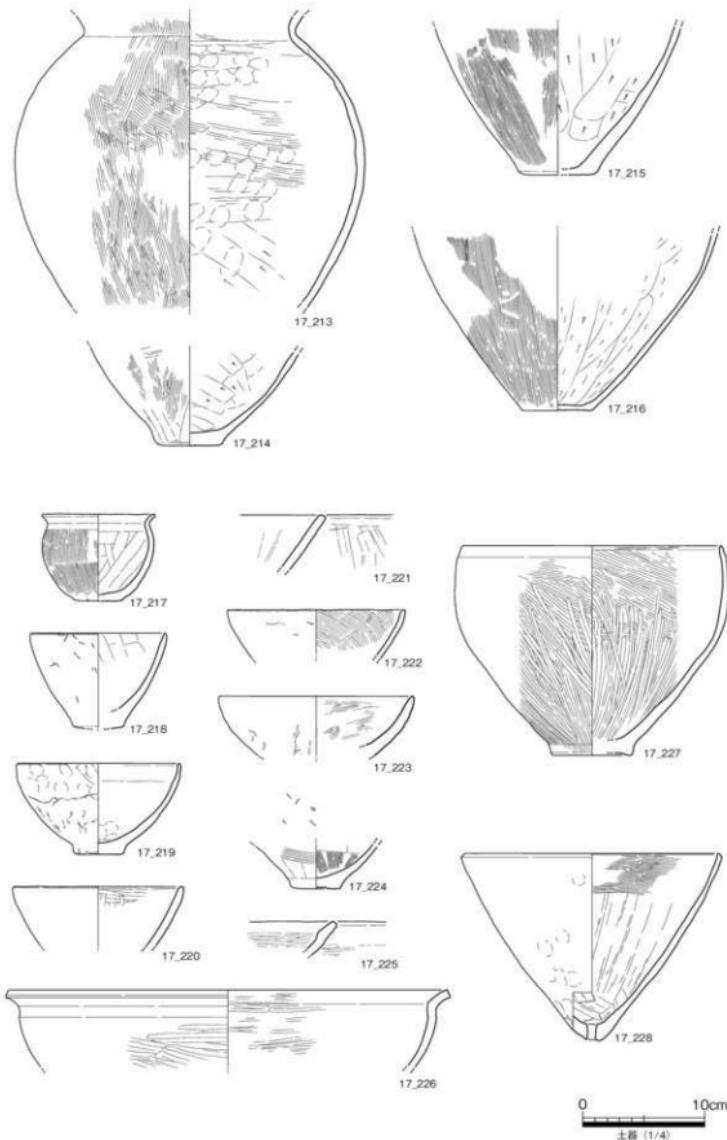
中層上位 2

第27図 SD01 遺物実測図3



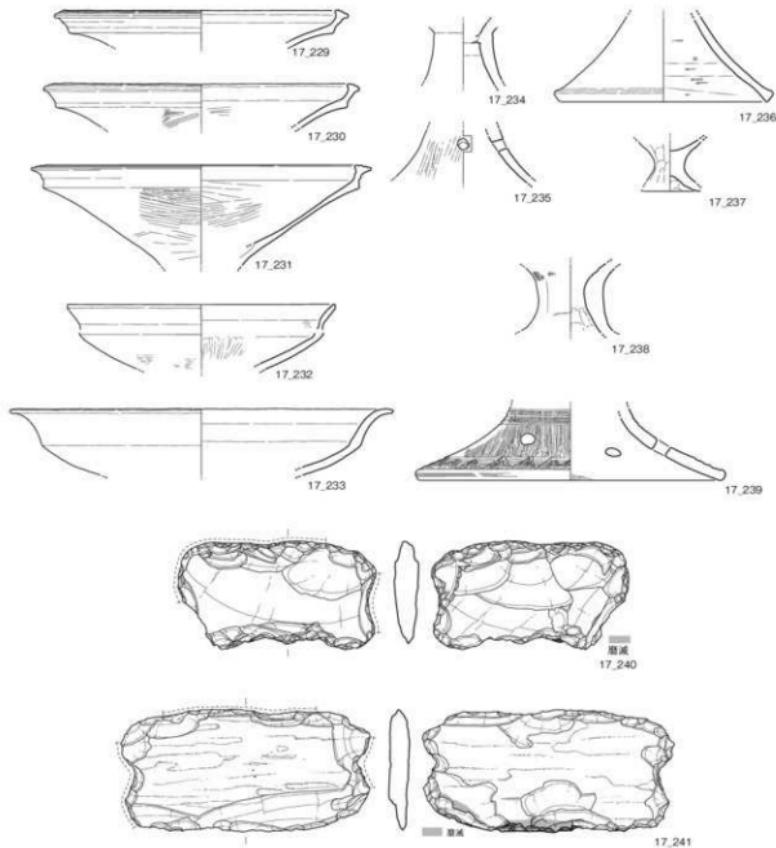
中層上位 3

第28図 SD01 遺物実測図 4



中層上位 4

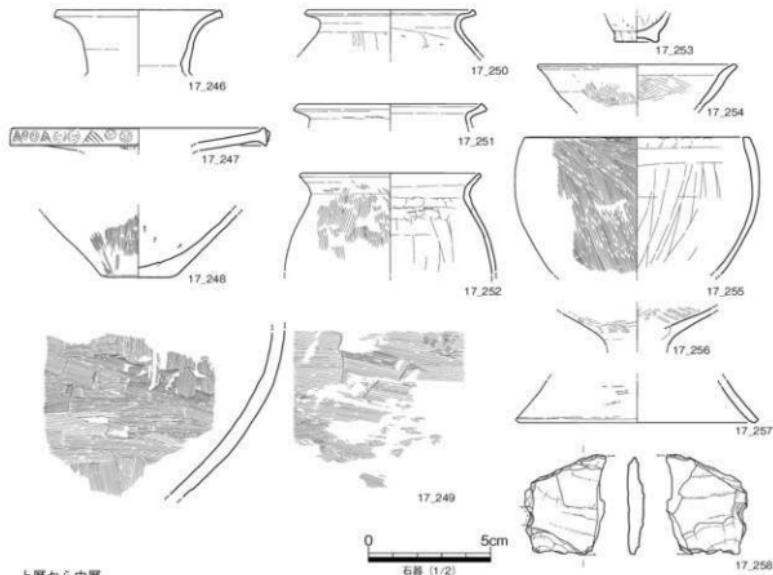
第29図 SD01 遺物実測図5



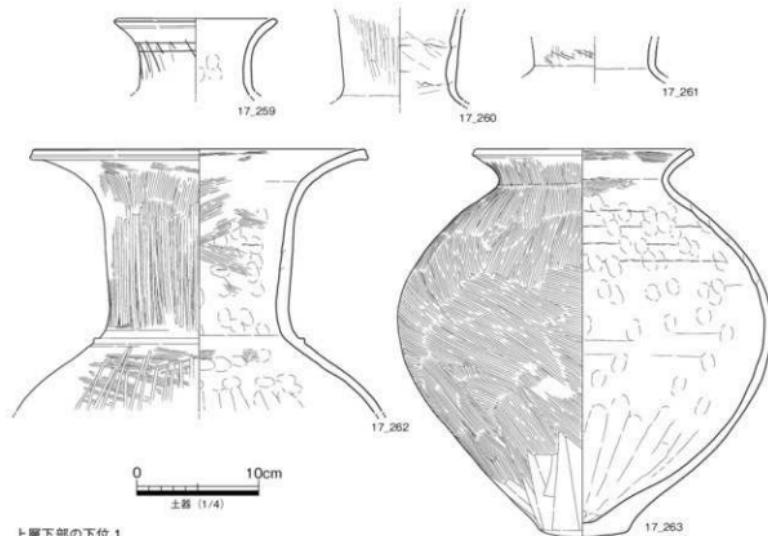
中層上位 5

中層

第30図 SD01 遺物実測図 6

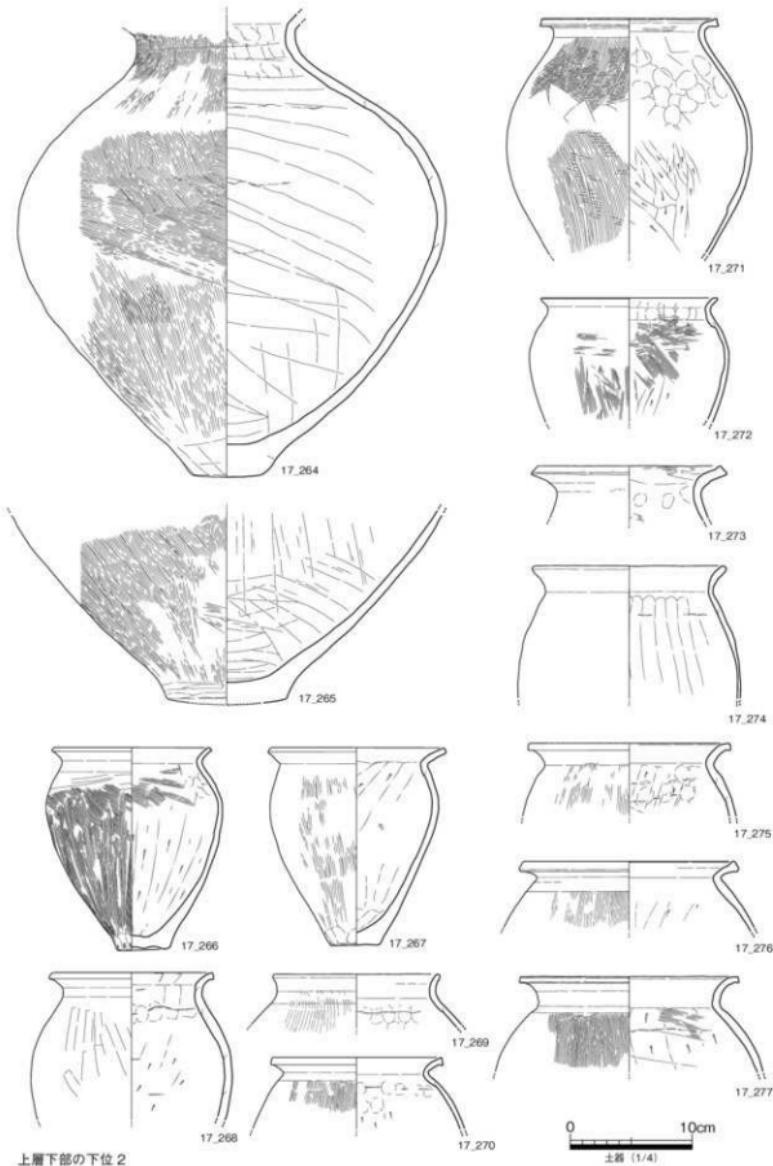


上層から中層



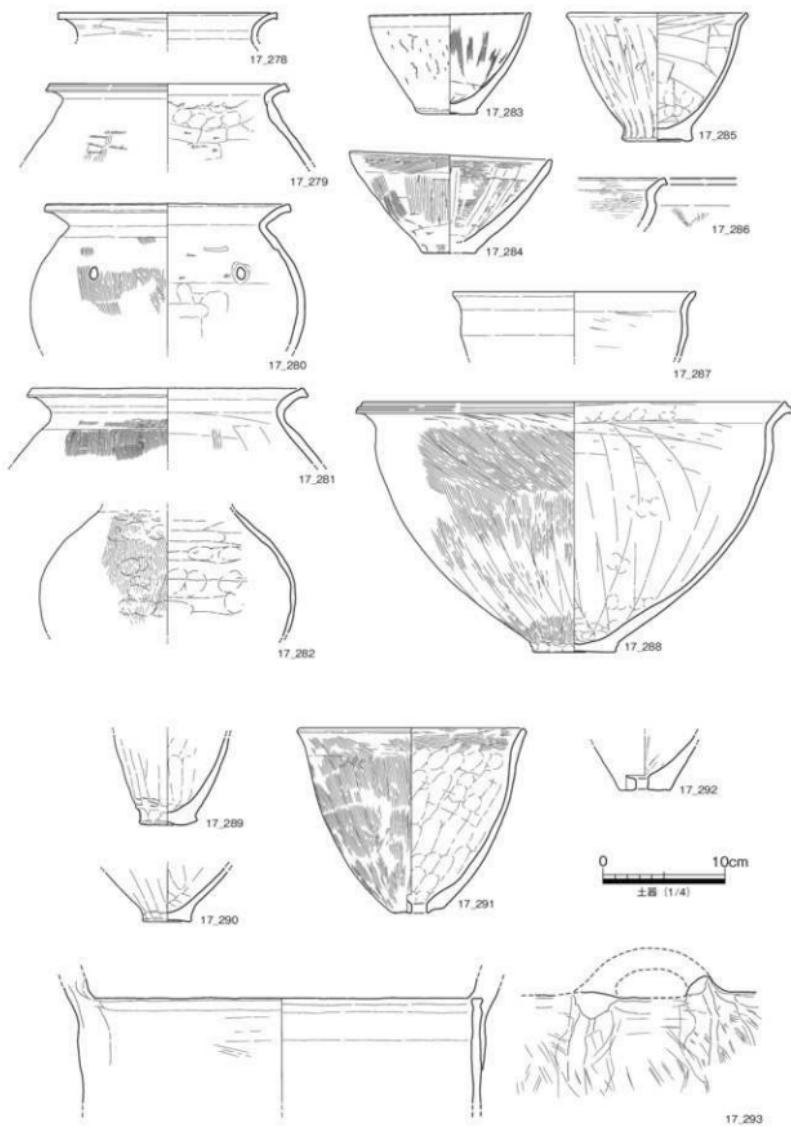
上層下部の下位 1

第31図 SD01 遺物実測図7



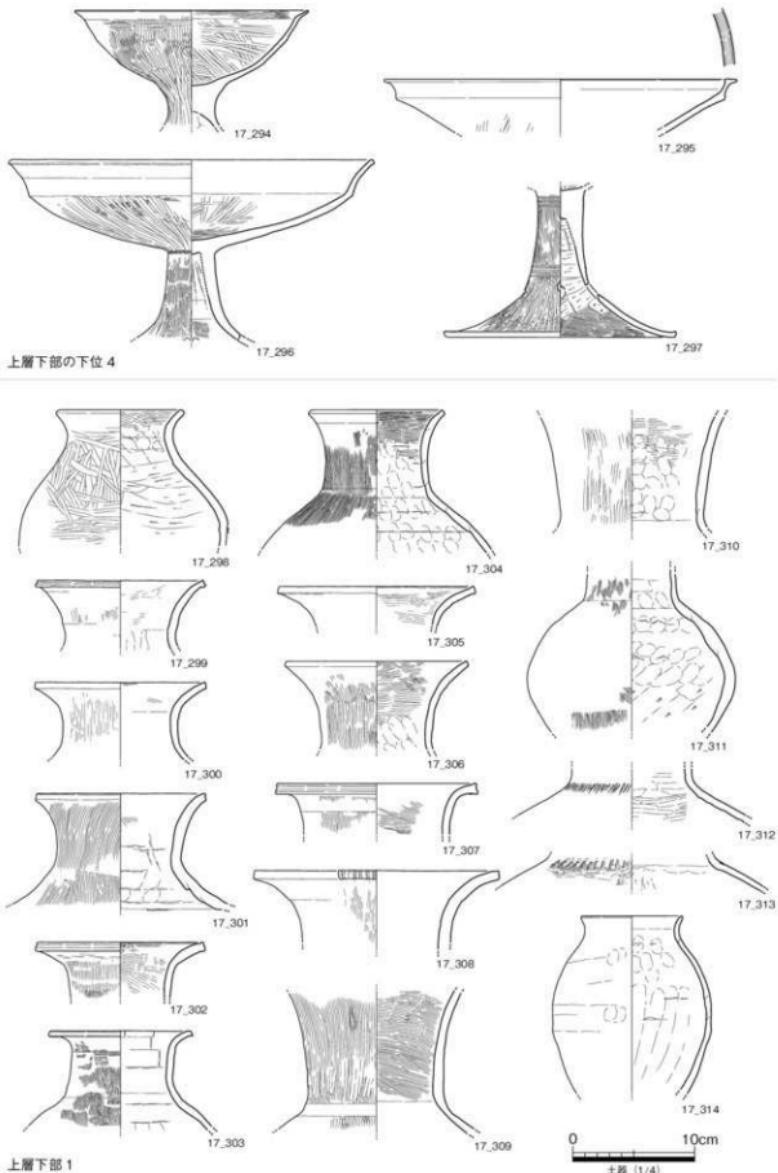
上層下部の下位 2

第32図 SD01 遺物実測図 8

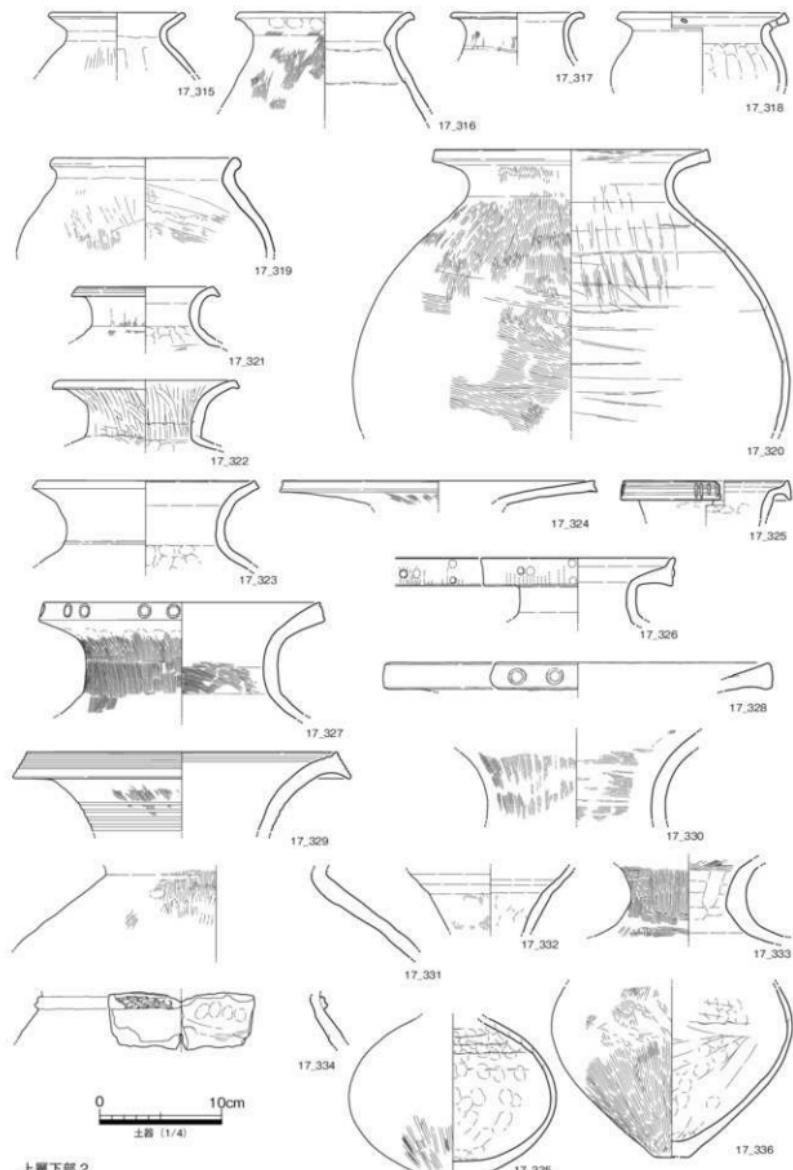


上層下部の下位 3

第33図 SD01 遺物実測図9



第34図 SD01 遺物実測図 10



上層下部 2

第35図 SD01 遺物実測図 11